Pioneer sound.vision.soul

DVD 5.1ch サラウンドシステム

HTZ-700DV
HTZ-900DV

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョン No. は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例)   など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

※DVDレコーダーのビデオモードで記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ(録画終了処理)してください

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処置]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

さっそく DVD を再生しましょう！ 6

1 テレビの電源を入れましょう 6
2 テレビの入力を切り換えましょう 6
3 本機の電源を入れましょう 6
4 テレビの種類を選びましょう 7
5 部屋のサイズとリスニングポジションを選びましょう 7
6 DVD をセットしましょう 8
7 それでは DVD を再生しましょう！ 9
8 音量を合わせてみましょう 10
9 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう 10
10 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう 11
11 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう 11
12 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう（お好みの音声を字幕に切りかえる） 12
13 DVD を停止しましょう 13
14 本機の電源を切りましょう 14

基本操作

各部のなまえを覚えましょう 15
デモ表示を解除しましょう........................... 20
時計をあわせましょう................................. 21
時計表示にするには... 21
お手持ちのテレビを操作しましょう 22
メーカーコード表... 22
よりDVDを楽しみましょう........................ 23
DVDのタイトル／グループやチャプター／トラックを指定して再生しましょう........................... 23
DVDのチャプター／トラックのスキップ(頭出し)をしましょう 24
いろいろなディスクを再生しましょう.......... 25
ビデオCDを再生しましょう 27
メニュー画面から再生しましょう (PBC再生) 27
ラジオ放送を聞きましょう.......................... 28
FM放送の雑音を減らしましょう............................. 29
受信した放送局を記憶しましょう............................ 30
記憶した放送局を呼び出しましょう......................... 31

DVD/DVDオーディオ/SACD/CD/MP3/ビデオCD応用編

ディスクを再生する

DVDやビデオCDのスロー再生をする ... 32
DVDにて、逆方向にスロー再生するには ... 32
DVDやビデオCDのコマ送り再生をする ... 33
DVDにて、逆方向にコマ送り再生するには ... 33
MP3のフォルダーのスキップ(頭出し)をする ... 33
DVD/DVDオーディオ/SACD/ビデオCD/CD/MP3を繰り返し再生する（リピート再生） ... 34
DVD/DVDオーディオ/SACD/ビデオCD/CD/MP3を順不同に再生する（ランダム再生） ... 35
CDやMP3/SACDの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生） ... 36
ビデオCDの音声を切り換える ... 37
DVDの映像のアングルを切り換える（マルチアングル） ... 37
映像を拡大して見る（ズーム） ... 38
プレイモード画面でいろいろな操作をする ... 39
指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生) ... 40
DVDを繰り返し再生する（リピート再生） ... 40
ビデオCD、CD、MP3、SACDを繰り返し再生する（リピート再生） ... 41
DVDを順不同に再生する（ランダム再生） ... 41
ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生する（ランダム再生） ... 42
順番を変えて再生する（プログラム再生） ... 43
見たい場面を探す(サーチモード) ... 46
ディスクナビゲーターを使って再生する ... 49
ディスクの情報を見る ... 51
JPEGファイルを再生する ... 54

サラウンドで再生する

サラウンド再生を楽しむ ... 58
オート（ソフトに忠実な再生） ... 58
サラウンド ... 59
アドバンスド（パイオニアオリジナルのサラウンド効果） ... 60
パイオニアオリジナルのサラウンド効果レベルを調整する ... 62
ドルビープロロジックIIミュージックモードに音響効果を加え、調整する ... 62
セリフやボーカルを強調して再生する ... 64
バーチャルサラウンドバックモードで再生する ... 65
低音を強調して再生する ... 65
高音と低音を調整する ... 66
小さい音でサラウンドを楽しむ ... 66

タイマーを使う

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー） ... 67
決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー） ... 69

設定をする

DVDに関する設定

画質を調整する ... 70
画質を調整してより見やすくする ... 70
デジタル音声出力の設定を変更する ... 72
接続する外部機器がドルビーデジタルに対応していないとき ... 72
接続する外部機器がDTSに対応しているとき ... 73
接続している外部機器が96kHzリニアPCMに対応しているとき ... 73
映像出力の設定を変更する ... 74
接続したテレビのサイズは、ワイドサイズ(16:9)ですか? 従来サイズ(4:3)ですか? ... 74
映像の出力方式をプログレッシブ出力に切り換えるとき ... 75
S映像端子から出力される映像信号をS1に切りかえるとき ... 76

言語の設定を変更する........................... 77
音声言語を変更する.................................. 77
字幕言語を変更する.................................. 78
DVDのメニューに表示する言語を変更する(DVDメニュー言語) 78
字幕を表示しないようにするには(字幕表示) 79
表示の設定を変更したいとき.................. 80
画面に表示される言語を英語にする(画面表示言語) 80
画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする(画面表示) 81
アングルマーク(🎥)を表示しないようにする(アングルマーク表示) 81
オプションの設定 82
視聴制限を設定する.................................. 82
DVDオーディオのボーナスグループを再生する(ボーナスグループ) 86
ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにする(オートディスクメニュー) 86
DVDオーディオのすべてのグループを続けて再生する(グループ再生) 87
DVDオーディオを DVDビデオとして再生する(DVD再生方式) 87
SACDの2チャンネルエリアまたはCDエリアを再生する(SACD再生) 88
JPEG以外のファイル/ディスクを再生しますか?(フォトビューワー) 89

サラウンドに関する設定

スピーカーの出力レベルを調整する....... 90
テストトーンで調整するには 90
再生しているディスクで調整するには 91
サラウンドに関する設定 92
フロントスピーカーまでの距離の設定.......... 94
センタースピーカーまでの距離の設定 95
サラウンドスピーカーまでの距離の設定 95
ダイナミックレンジコントロールの設定 96
デュアルモノの設定 96
LFEアッテネータの設定 97

その他の設定

チャイルドロック機能を使う................... 98
時計の表示モードをかえる 98
周波数ステップを切りかえる 99
表示全体の明るさをかえる 99

外部機器を使う

外部機器の接続のしかた 100
より鮮明な映像でテレビを見るには 100
テレビの音声を本機で聞いたりするには ... 101
ビデオやカセットデッキなどを接続して本機で聞いたりするには 101
外部機器音声の歪みを減らす 102
カセットデッキなどのアナログ機器で本機の音声を録音するには 102
BSチューナーやゲーム機などの音声を本機で聞くには 103
MDやCD-Rなどのデジタル機器で本機の音声を録音するには 104
アンテナ接続について........................ 105
付属アンテナでよく聞こえないとき..... 105

その他

ディスクの基礎知識 106
再生できるディスクについて 106
DVD-Rディスクの再生について 106
DVD-RWディスクの再生について.......... 106
CD-R/CD-RWディスクの再生について 106
MP3の再生について 107
JPEGの再生について............................. 107
タイトルとチャプターについて 107
MP3/JPEGについて 108
DVDオーディオのグループとトラックについて 108
ビデオCD/SACD/CDのトラックについて 108
DVD/CDディスクの取り扱いかた........... 109
DVDのディスクジャケットの表記について 110
用語解説 112
こんな表示が出たとき 116
マルチチャンネル再生にならないときは 117
故障かな?と思ったら........................... 118
メーカーコード表 123
言語コード表 125
国コード表 125
日ごろのお手入れと取り扱いの注意 ... 126
初期設定一覧 127
設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化) 127
保証とアフターサービス...................... 128
仕様 129

さっそくDVDを再生しましょう！

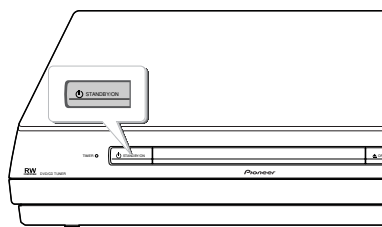
1 テレビの電源を入れましょう

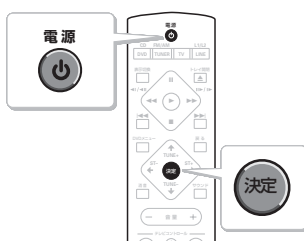
テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力2端子に接続したときはビデオ入力2を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

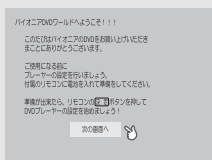
3 本機の電源を入れましょう

本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

① まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

② 次に下記の画面が表示されます。

③ リモコンの**決定ボタン**を押して **4** に進みます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(システムセットアップガイド)

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(システムセットアップガイド)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

→ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？(表示窓の**[PRGSVE]**が点灯していませんか？)。75ページを参照して、**[インターレース]**に切り換えてください。

Q3: リモコンで操作できない！

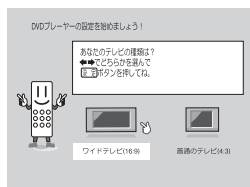
→ ディスプレイユニットとの距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲でのみ操作することができます。

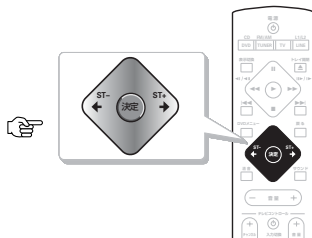
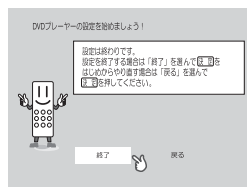
→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？ディスプレイユニットのリモコン受光部に向けて操作してください(15ページ)。

→ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、ディスプレイユニットを蛍光灯から離してください。

4 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

☞

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンで次の画面へ。

☞

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンを押して終了します。

メ モ

- [*DVDプレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
- [*DVDプレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面終了後にテレビの種類を変更したいときは、初期設定の**[テレビ画面]**(74ページ)で設定してください。
- **[戻る]**を選んでから決定ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。
- ディスクの再生が終了してから、本体またはリモコンを5分以上操作しないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示（[Pioneer]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

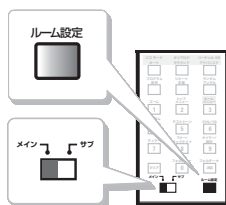
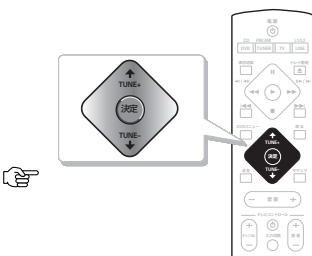
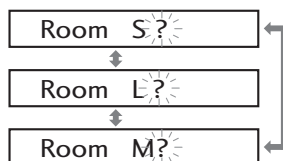
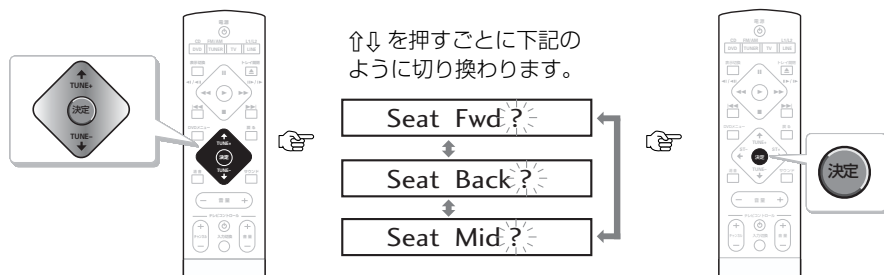
5 部屋のサイズとリスニングポジションを選びましょう

視聴位置のすぐそばにおいたスピーカーと遠いところにおいたスピーカーとでは、そのスピーカーから聴こえる音のタイミングや大きさにズレが生じ、適切なサラウンド効果を得ることができません。ここでは3つのサイズ（S、M、L）の中からご自分の部屋に近いサイズを選び、さらにリスニングポジションの設定でFwd、Mid、Backの中からご自分のリスニングポジションに近い設定を選びます。選択できる部屋のサイズの目安はSが約6畳、Mが約12畳、Lが約18畳です。リスニングポジションの設定では、フロントスピーカーが近いときはFwdを、全てのスピーカーがほぼ等距離のときはMidを、フロントスピーカーが遠いときはBackを選びます。

メインサブ切り換えスイッチをメインに切り換えてからリモコンのルーム設定ボタンを押す。

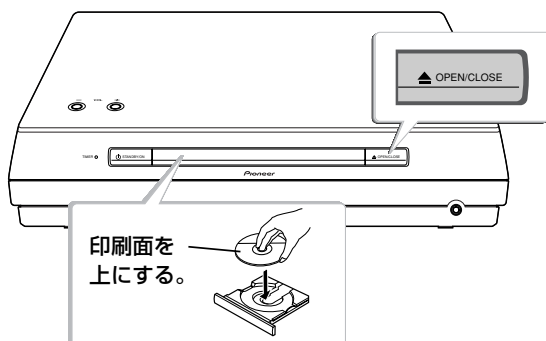
ルーム設定

メイン　サブ

☞

決定ボタンを押してからリモコンの⇧⇩で S、M、Lを選択。
決定ボタンでリスニングポジションの設定（次ページ）へ。

⇧⇩を押すごとに下記のように切り換わります。

メ モ

- ▼ ここでは実際に、各スピーカーまでの距離と各スピーカーの出力レベルを変更しています(90、92ページ)。これらの項目を更に細かく設定することにより、より快適なサラウンド空間をつくり出すこともできます。この場合ルーム設定は無効となります。
- ▼ 設定後にもう一度**ルーム設定ボタン**を押すことで、現在のルーム設定を確認することができます。確認中に**決定ボタン**を押すと再びルーム設定のモードになります。

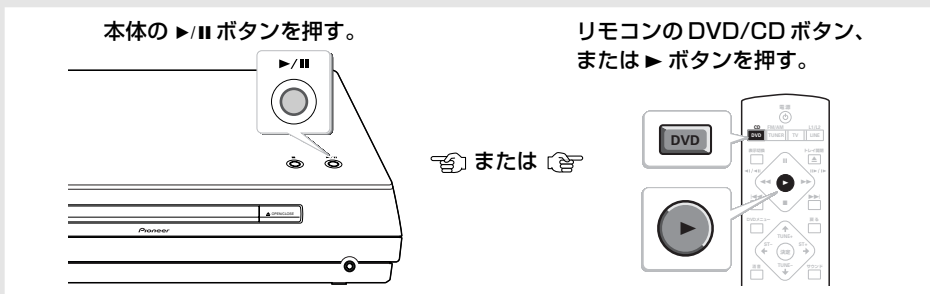
6 DVDをセットしましょう

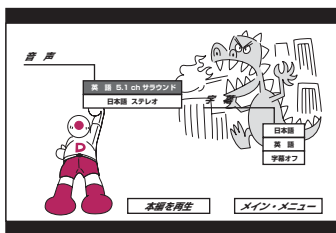
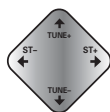
本体の▲OPEN/CLOSEボタンを押す。

ディスクテーブルが出てきます。図のようにDVDをセットしてください。

DVDをセットしたら、本体の**▲OPEN/CLOSEボタン**を押して、ディスクテーブルを閉めます。

メ モ

- ▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるDVDもあります。
- ▼ 本体の**▲OPEN/CLOSEボタン**を押して電源を入れることもできます。

7 それではDVDを再生しましょう！

DVDのメニュー画面が表示されたら・・・

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

- 映画などのDVDのメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVDによっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切り換えることもできます。（12ページ参照）

リモコン	基本的な操作内容
	画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。ただし、ズーム（38ページ）にて映像の拡大中は、項目を選択することはできません。
	選択した項目を、決定するときに押します。
DVDメニュー	再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。
戻る	DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。
	階層のあるDVDのメニューにて、はじめのトップ・メニューに戻るときに押します。

Q&A

Q ：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVDが汚れていませんか？ DVDをクリーニングしてください。
→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。(110、114ページ)
→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください。(126ページ)

メ モ

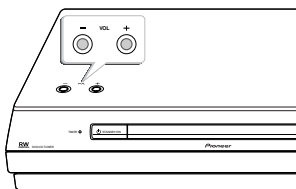
- ▼ 画面の上下に帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。
- ▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンにて番号を選んで再生できるものもあります。

注 意

- ◆ 2 層(Dual Layer)の DVD の場合、1 層から 2 層目に切りかわるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

8 音量を合わせてみましょう

本体の VOLUME を押す。
大きくするときは＋側を押し、小さくするときはー側を押します。

または

リモコンの音量を押す。
大きくするときは＋側を押し、小さくするときはー側を押します。

Q&A

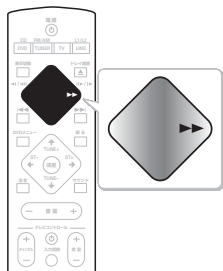
Q1 : 音が出ない！
→ ボリュームを上げてください。

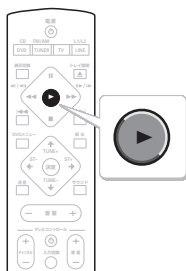
Q2 : フロントスピーカーとサブウーファーからしか音が出ない！
→ 接続が正しくされているか、別紙の ***「システムセットアップガイド」*** を参照してください。
→ **サラウンドボタン**を押して、マルチチャンネル再生に切り換えてください(59 ページ)。

注 意

- ◆ DVD-Audio のディスクによってはヘッドホン挿入時はフロントの L/R 成分しか出力されないものがあります。

9 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

リモコンの ▶▶ ボタンを押す。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで進めたら ▶ ボタンを押す。

10 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◀◀ ボタンを押す。

1回押すと・・・速い
[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

⬇

2回押すと・・・もっと速い
[スキャン 2 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

⬇

3回押すと・・・さらに速い
[スキャン 3 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで戻したら ▶ ボタンを押す。

メモ

▼ ◀◀/▶▶ を押し続けるとスキャン1の速さで早戻し/早送りを行います。この場合、見たい場面になったら ◀◀/▶▶ を離します。

11 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

リモコンの II ボタンを押す。

通常の再生に戻すときは・・・・

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

リモコンの ▶、または II ボタンを押す。

12 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう（お好みの音声と字幕に切りかえる）

DVDの中には、複数の音声と字幕が収録されているものがあります（ディスクによって収録されている言語数は異なります）。
ここでは英語と日本語が収録されている DVD-Video を吹替え版に設定する例を説明します。DVDによっては下記の操作で音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときはDVDのメニュー画面で切り換えてください（9ページ）。

音声を切り換えましょう

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。
音声が二重(二カ国語)で記録されている VR DVD-RW の場合も音声を切り換えることができます。ただし、**主、副、主/副音声**の切り換えは**リモコンの音声ボタン**では切り換えられないので「デュアルモノの設定」（93ページ）をご覧になり、切り換えを行ってください。
複数の音声が収録されている DVD-Audio では、音声の種類を切り換えることができます。

DVDを再生しているときに 、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えた後、リモコンの音声ボタンを押す。

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

例 DVD-Video の音声切換画面

＊ 3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは115ページをご覧ください。

注 意

◆ DVD-Audio ソフトを再生中に音声ボタンを押して音声の切り換えを行うと、そのトラックの始めから再生を行います。

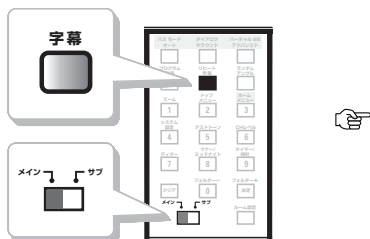
Q&A

Q ：マルチチャンネル再生にならない

→ **サラウンドボタン**を押して、お好みのモードを選んでください。（59ページ）

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えでセリフを日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されている DVD-Video では他の言語を選ぶこともできます)。

DVD を再生しているときに、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えた後、リモコンの字幕ボタンを押す。

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

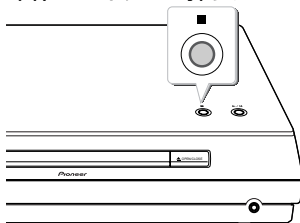
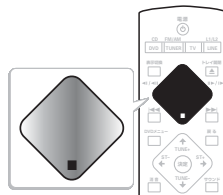
＊ 字幕が収録されていないときは[－ / －]が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定（77 ～ 78 ページ）にて設定した状態に戻ります。
⇨ リジューム機能を解除したとき
⇨ DVD を取り出したとき
▼ 再生中の DVD によっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分 DVD の世界を楽しんでください！

13 DVD を停止しましょう

本体の ■ ボタンを押す。 または リモコンの ■ ボタンを押す。

■ ボタンを 1 回押すと表示窓に･･･

Stop ➡ Resume

･･･と表示され、停止した場所を記憶します(**リジューム機能**)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとラストメモリー機能が働きます。次回、そのDVDを入れて**► ボタン**を押すと、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。

停止中に**■ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

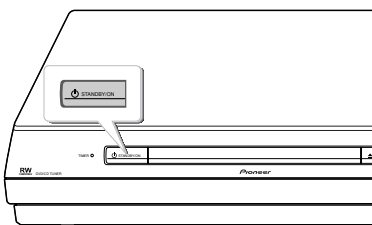
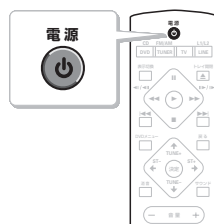
DVD

･･･と表示され、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除されます。次に再生したときは DVD の最初から再生します。

メ モ

▼ 本機はDVD5枚分の停止した場所を記憶できます。5枚を超えると一番古いメモリーから消去されていきます。
▼ VR DVD-RW では、ラストメモリー機能は動作しません。
▼ DVD-Audio はリジューム機能が使えません。

14 本機の電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

リモコンの**⏻電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示窓に･･･

Good Bye ･･･と表示されます。

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[Good Bye]表示が消えていることを確認してください。[Good Bye]表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。また、数日、電源コードを抜いたままにしておくと、設定した内容はクリアーされてしまうことがあります。再設定してください。

各部のなまえを覚えましょう

本体部

音量を調整する
VOLUMEボタン

ディスクを停止する
■ボタン

ディスクを
再生/一時停止する
▶/❚❚ボタン

TIMER　STANDBY/ON　OPEN/CLOSE　VOL　Pioneer

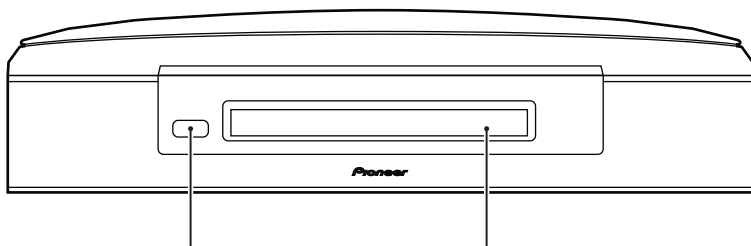
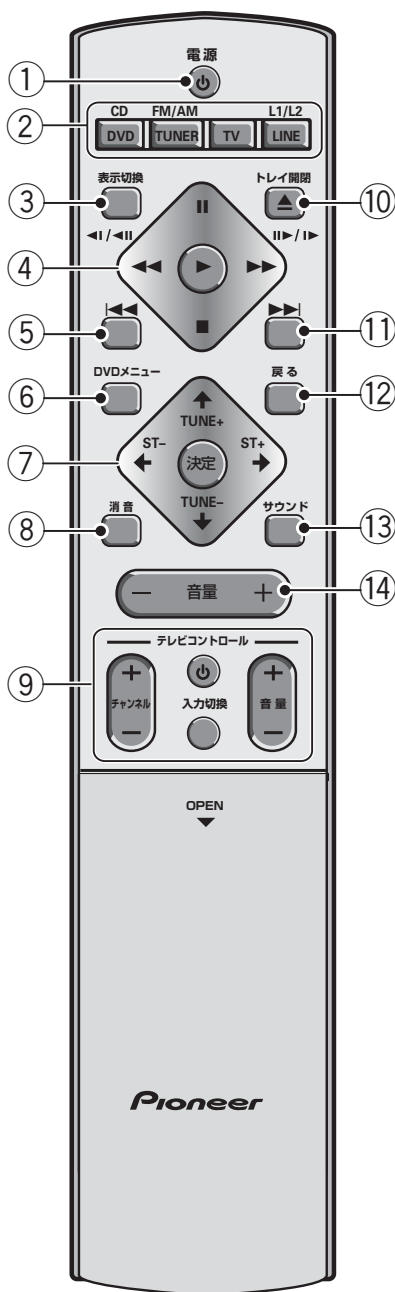
タイマーが設定されていると点灯します
タイマーインジケーター

ディスクテーブル

ディスクテーブルの開閉
⏏OPEN/CLOSEボタン

電源を入れる/切る
⏻STANBY/ONボタン

市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16Ω～50Ω（推奨32Ω）、直径3.5Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。
ヘッドホン端子

ディスプレイユニット部

リモコン

① ⏻ 電源ボタン

② DVD/CDボタン
DVDやCDを再生したり、一時停止するときに使用します。

FM/AM TUNERボタン
ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切り換えるときに使用します。

TVボタン
接続したテレビの音を聞くときに使用します。

L1/L2 LINEボタン
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、LINE1 ANA、LINE1 DIGまたはLINE2に切り換わります。

③ 表示切換ボタン
ディスク情報の表示および切り換えをします。

④ ►ボタン
ディスクを再生するときに使用します。

■ ボタン
ディスクを停止するときに使用します。

II ボタン
ディスクを一時停止するときに使用します。

◄◄/◄I/◄II ボタン(32～33ページ)

►►/II►/I► ボタン(32～33ページ)
再生中は映像や音声の早送り/早戻しをします。一時停止中に押すとコマ送り / コマ戻し再生を行い、押し続けるとスロー再生をします。

⑤ I◄◄ ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの始めに戻ります。

⑥ DVDメニューボタン
DVD-Video のメニュー画面を表示するときに使用します。また、MP3 JPEG CD(R/RW) VR DVD-RW Video CD では、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑦ ⇧ ⇩⇦ ⇨ /決定ボタン
項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動し、決定ボタンで決定するときに使用します。

⑧ 消音ボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑨ テレビコントロールボタン
以下のボタンは、本機のリモコンに、お使いのテレビのプリセットコードを設定すると使用することができます。（22ページ）

テレビ ⏻
テレビの電源を入れます。

テレビ入力切換ボタン
テレビのライン入力を切り換えます。

テレビチャンネルボタン
テレビのチャンネルを変更します。

テレビ音量ボタン
テレビの音量を調整します。

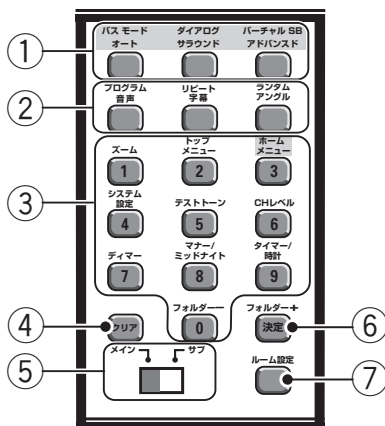
⑩ トレイ開閉ボタン

⑪ ▶▶I ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの次に進みます。

⑫ 戻るボタン
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑬ サウンドボタン(62、63、66ページ)
DSP モードの効果を調整したり、高音、低音の調整などを行うモードにしたいときに使用します。

⑭ 音量ボタン

リモコンドアパネル内（メインのとき）

① オートボタン(58ページ)

サラウンドボタン(59ページ)

アドバンスドボタン(60〜61ページ)

② 音声ボタン(12ページ)
言語、または音声を切り換えるときに使用します。

字幕ボタン(13ページ)
DVDの字幕言語を切り換えるときに使用します。

アングルボタン(37ページ)
DVDのアングルを切り換えるときに使用します。また、JPEGの画像を回転させるときにも使用します。

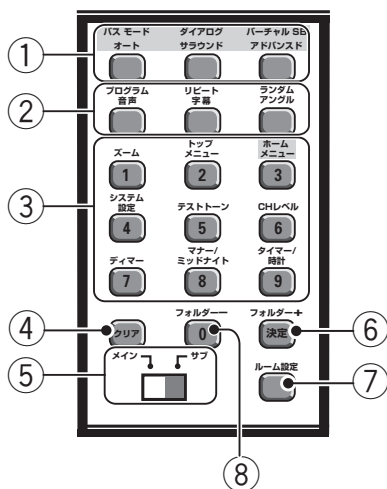
③ 数字ボタン

④ クリアボタン
リピート、ランダムまたはプログラム再生などで設定した内容を取り消します。

⑤ メイン/サブリモコン切り換えスイッチ
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ 決定ボタン
設定または選択した項目を決定します。

⑦ ルーム設定ボタン(7〜8ページ)

リモコンドアパネル内(サブのとき)

① バスモードボタン(65ページ)

ダイアログボタン(64ページ)

バーチャルSBボタン(65ページ)

② プログラムボタン(36ページ)

リピートボタン(34ページ)

ランダムボタン(35ページ)

③ ズームボタン(38ページ)

トップメニューボタン
DVD-Video ソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

ホームメニューボタン
ホームメニュー画面を表示したり、操作/設定の途中で画面をオフにします。

システム設定ボタン(94〜99ページ)
各種システム設定を行います。

テストトーンボタン(90ページ)

CHレベルボタン(91ページ)

ディマーボタン(99ページ)

マナー/ミッドナイトボタン(66ページ)

タイマー/時計ボタン
(21、67〜69ページ)
タイマーや時間を設定するときまたは時計を見るときなどに押します。

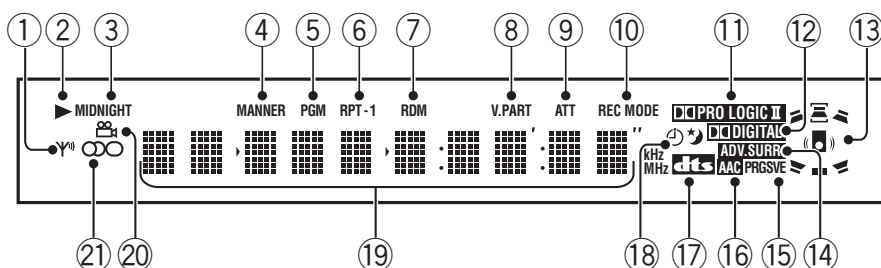
④ (メインのときのみ操作可能)

⑤ メイン/サブリモコン切り換えスイッチ
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ フォルダーサーチ+ボタン
MP3 または JPEG の再生中に、次のフォルダーの始めに送ります。

⑦ (メインのときのみ操作可能)

⑧ フォルダーサーチ－ボタン
MP3 または JPEG の再生中に、1つ前のフォルダーの始めに戻ります。

表示部

① FM/AM放送受信時に点灯します。

② ディスクを再生中に点灯します。

③ ミッドナイトをオンにすると点灯します。(66ページ)

④ マナーオンにすると点灯します。(66ページ)

⑤ プログラム設定時、または再生時に点灯します。(36、43ページ)

⑥ 全曲リピート再生時にはRPTと点灯し、1曲リピート再生時は、RPT-1と点灯します。(34、40～41ページ)

⑦ ランダム再生時に点灯します。(35、41～42ページ)

⑧ DVDビデオまたはDVDオーディオの映像信号のある場面で点灯します。

⑨ TV入力、LINE1 ANA入力またはLINE2入力でアッテネーターがオンのときに点灯します。（102ページ）

⑩ Rec Modeがオンのときに点灯します。（102ページ）

⑪ ドルビープロロジック II 処理が行なわれているときに点灯します。（58～59、112ページ）

⑫ ドルビーデジタル信号を再生しているときに点灯します。

⑬ 出力するスピーカーを表示します。ただし、ソースによってはすべてのスピーカーから音が出ているとは限りません

ステレオ(2.1ch)で再生中です。

マルチチャンネル(5.1ch)で再生中です。

3.1chのダイアログモードがONの状態で再生中です。 はダイアログモードがONのときに点灯します。（64ページ）

5.1chのバーチャルSBモードがONの状態で再生中です。 はバーチャルSBモードがONのときに点灯します。（65ページ）

⑭ パイオニア オリジナルのサラウンド効果のモードを選択しているときに点灯します。（60～61ページ）

⑮ 映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯します。（75ページ）

⑯ MPEG-2 AAC信号を再生しているときに点灯します。（59、114ページ）

⑰ DTS信号を再生しているときに点灯します。

⑱ スリープタイマーまたは目覚ましタイマー設定時に点灯します。（67～69ページ）

⑲ 文字や数字を表示します。

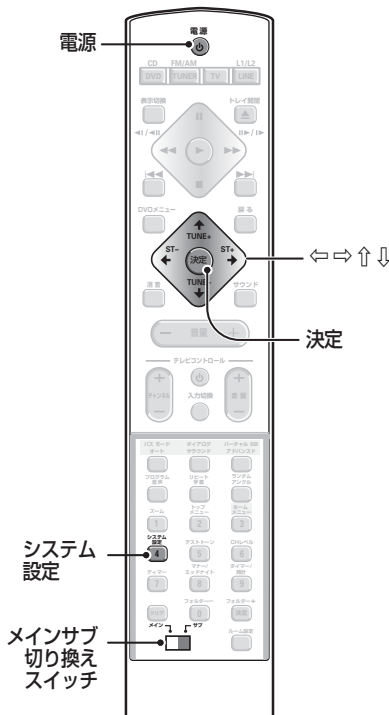
⑳ DVDビデオを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。(37ページ)

㉑ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると O が点灯します。（29ページ）

FM放送でステレオ受信していると、OO が点灯します。

デモ表示を解除しましょう

はじめに

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

Q:　デモ表示をしない！

→　21 ページにて時刻が設定されていると、デモ表示は強制的に解除されます。

一時的にデモ表示を解除するには

本体かリモコンのいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。
ただしこの場合、以下のときに再びデモ表示を開始します。

- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- DVD や CD などの再生が終了して、5 分以上何も操作がなかったとき
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "Demo Mode" にしてから決定ボタンを押します

Demo Mode?

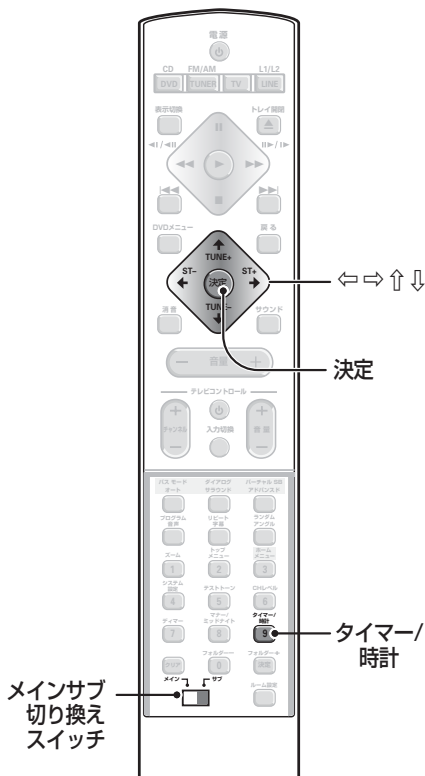
5.

⇧ ⇩ で "Demo Off" にしてから決定ボタンを押します

Demo Off?

電源がオフになりデモ表示が解除されます。再びデモ表示を設定する場合は、"Demo On" にします。その場合は DVD ファンクションに切り換わります。

時計をあわせましょう

お買い上げ時の時計表示は、12時間表示です。また、時計表示を24時間表示に切り換えることもできます。(98ページ) 時計をあわせていないと、タイマー動作(67〜69ページ) を行うことはできません。

例) 午後6時40分にあわせる場合

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. タイマー/時計 9 **タイマー / 時計ボタンを押します**

すでに時計をあわせているときはもう一度タイマー / 時計ボタンを押します。

3. **⇦ ⇨ で "Clock ADJ" にしてから、決定ボタンを押します**

Clock ADJ?

4. **⇧ ⇩ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"6 pm" にします。

6 : 00 pm

5. **⇧ ⇩ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"40" にします。

6 : 40 pm

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

時計表示にするには

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. タイマー/時計 9 **タイマー / 時計ボタンを押します**

時計を数秒間表示します。

お手持ちのテレビを操作しましょう

TV コントロールに、お手持ちのテレビのメーカーコードを設定すると、いつでも設定されたテレビの操作をすることができます。ただし、メーカーコード表にないメーカーのテレビは操作できません。また、メーカーコードが記載されていても操作できない機種もあります。

1. 操作したいテレビに、リモコンを向けます

2. クリアボタンを押しながら、3桁のメーカーコードを入力します

正しいコードナンバーを入力すると、電源ON/OFF信号がリモコンから送信され、テレビの電源が ON または OFF に切りかわります。
テレビの電源がON/OFFしない場合で、そのメーカーに別のコードナンバーがある場合は、別のコードナンバーを使って手順 1 からやり直してみてください。

メーカーコード表

下記に記載されていないメーカーについては、123 ～ 124 ページをご覧ください。

メーカー	コード
アイワ	**660**
NEC	**659**
サンヨー	**614, 635, 645, 648, 621**
シャープ	**602, 619, 627**
ソニー	**604**
東芝	**605, 602, 626, 621, 653**
日立	**631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618**
パナソニック	**631, 607, 608,642, 622**
ビクター	**613**
富士通	**648, 629**
FUNAI	**640, 646, 658**
三菱	**609, 610, 602, 621, 631**
パイオニア	**600 (お買い上げ時の設定), 631, 632, 607, 636, 642, 651**

Q&A

Q ：テレビの電源が ON/OFF しない

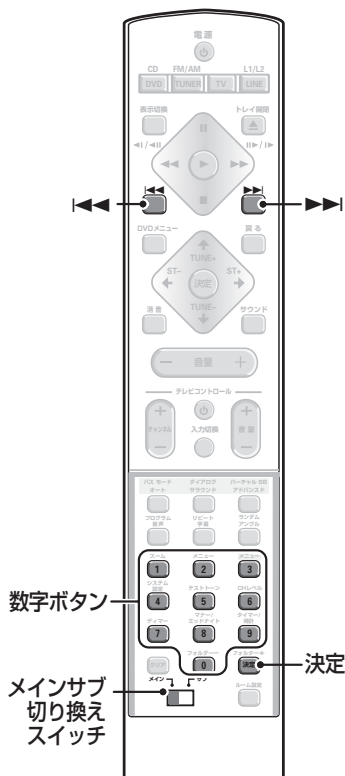
→ テレビにSTANDBY/ONモードがついていない場合は、電源は切りかわりません。テレビのチャンネルを操作するなどして、実際に動作するか確認してください。

より DVD を楽しみましょう

メ モ

▼ 本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

- DVD-Video　市販の DVD ビデオ、またはビデオモードにて記録された DVD-R/RW
- VR DVD-RW　VR モードにて記録された DVD-RW
- DVD-Audio　市販の DVD オーディオ
- Video CD　ビデオ CD
- SACD　市販の SACD（スーパーオーディオ CD）
- CD(R/RW)　市販の音楽用 CD、または CDDA フォーマットで音楽が記録された CD-R/RW
- MP3　MP3 ファイルが記録された CD-R/RW
- JPEG　JPEG ファイルが記録された CD-R/RW

DVD のタイトル／グループやチャプター／トラックを指定して再生しましょう

DVD のメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます。**（ダイレクトサーチ機能）**

DVD-Audio では、グループ / トラックを指定して再生します。

タイトル／グループを指定して再生するには･･･

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. 停止中に、数字(0〜9)ボタンでタイトル／グループ番号を入力します

例えば、タイトル3を再生するには、3 を押します。

- タイトル／グループを指定して再生できないディスクもあります。

3. 決定ボタンを押します

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

チャプター／トラックを指定して再生するには…

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2.

再生中に、数字(0～9)ボタンでチャプター／トラック番号を入力します

例えば、チャプター12を再生するには、1, 2 を押します。

- 現在再生中のタイトル／グループ内のチャプター／トラックのみを指定することができます。

3. 決定

決定ボタンを押します

- 番号入力後、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

DVD のチャプター／トラックのスキップ(頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。
押した回数だけチャプター／トラックがスキップします。

見たいチャプター／トラックに進むには…

再生中に、▶▶|ボタンを押します

次のチャプター／トラックに進みます。

見たいチャプター／トラックに戻るには…

再生中に |◀◀ ボタンを押します

再生中のチャプター／トラックの先頭に戻ります。2 回押すと 1 つ前のチャプター／トラックに戻ります。

いろいろなディスクを再生しましょう

再生する前に８ページを参照して、ディスクをセットしてください。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	・Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 27 ページをご覧ください。 ・ディスク情報を読み込み中に、画面に[読込中]と表示されます。表示が消えてから再生してください。（MP3 では他のディスクよりも長く表示されることがあります）。
停止する	■	・Video CD では、本体の表示窓に[Resume]と表示されます。その場合停止したところを記憶します。リジューム機能を解除するには、■ボタンをもう一度押します。 ・SACD CD(R/RW) では、リジューム機能は働きません。 ・MP3 では、リジューム機能は動作せず停止したファイルのあるフォルダーの１曲目から再生します。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、またはIIボタンを押します。
頭出しする	I◄◄　►►I	押した回数だけスキップします。
早送りする	►►	・早送り中は画面に[スキャン１ ►►]と表示されます。 ・早送りの速さを SACD Video CD CD(R/RW) は２段階(スキャン１→2)に切り換えることができます。 ・Video CD MP3 では、再生中のトラックのみ早送りします。 ・早送り中に通常の再生に戻すには、►ボタンを押します。

何をする？	これを押す！	知っておいて！
早戻しする		・早戻し中は画面に**[スキャン 1 ◀◀]**と表示されます。 ・早戻しの速さを SACD Video CD CD(R/RW) は2段階(スキャン1→2)に切り換えることができます。 ・ Video CD MP3 では、再生中のトラックのみ早戻しします。 ・早戻し中に通常の再生に戻すには、**▶ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する		・見たい/聞きたいトラックの番号を**数字(0〜9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(トラック番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 トラック12を選択する場合は、数字ボタンの**1**,**2**を押してから**決定ボタン**を押します。 ・ MP3 では、再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。

Q1: ビデオCDが再生できない。

→ パソコンで記録された Video CD は再生できないことがあります。

Q2: MP3ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 画面に**[このフォーマットは再生できません]**と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。

・ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。

・ MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないMP3ファイルを再生している。

→ ディスクに MP3 と JPEG が混在していませんか。[フォトビューワー]の設定を変更してください(89ページ)。

Q3: CD-R/RWが再生できない。

→ パソコンで記録されたCD-R/RWは再生できないことがあります。

Q4: 頭出し(スキップ)やトラックの指定ができない。

→ ファイナライズされていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWでは頭出し(スキップ)やトラックを指定ができません。

Q5: ラストメモリー機能が動作しない。

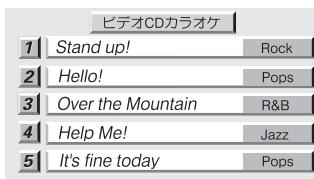
→ Video CD では、ラストメモリー機能は動作しません。

ビデオ CD を再生しましょう

メニュー画面から再生しましょう (PBC 再生)

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. PBC 再生対応のビデオ CD ディスクをセットしてから、► ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

メイン サブ

3. 数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。
トラックを選択してから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に、|◄◄ または ►►| ボタンを押します

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC 再生を解除して再生する）

停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

停止中に |◄◄ または ►►| ボタンで、再生するトラックを選びます

停止中に数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します

トラックを選択してから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
例えば、トラックの12曲目を再生するには、**1**、**2**を押してから、決定ボタンを押します。

ラジオ放送を聞きましょう

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。別紙のシステムセットアップガイドを参照して、アンテナを接続してください。

1. TUNER ボタンを押します

FM/AM
TUNER

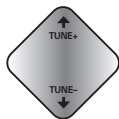
ラジオが聞ける状態になります。

FM	76.00

AM	522

押すごとに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます

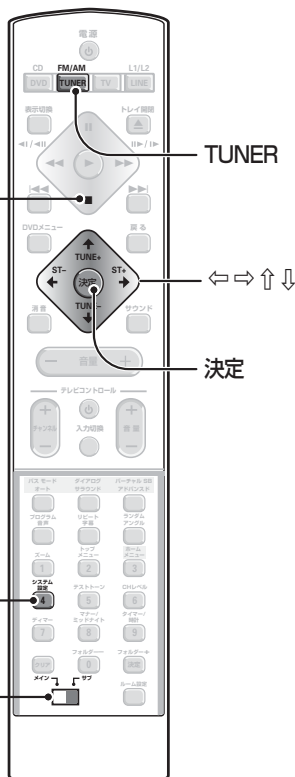
周波数の合わせ方（チューニングのしかた）には、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押して、周波数が動きはじめたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を 1 回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM放送の雑音を減らしましょう

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切りかえる"Auto"に設定されています。

1. FM/AM TUNER **TUNERボタンを押してFM放送を受信します**

2. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

3. システム設定 4 **システム設定ボタンを押します**

4. **⇦ ⇨で"FM Mode"にしてから、決定ボタンを押します**

FM　Mode?

現在の設定が表示されます。

5. **⇧ ⇩で"FM Mono"にしてから、決定ボタンを押します**

FM　Mono?

表示部に、○ が点灯します。
FMステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、"FM Auto"にします。

Q&A

Q: FMステレオ放送なのに、ステレオにならない

→ 放送されているFMがモノラル放送か、電波の弱い場合は、ステレオ放送になりません。

メモ

▼ 本機はテレビ放送の1〜3チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。

▼ 1ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは99ページを参照してください。

注意

◆ FM放送の90MHz〜108MHzはテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。

◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

受信した放送局を記憶しましょう

FM/AM放送あわせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押し、記憶したい放送局を受信します

放送局の受信のしかたは、28ページを参照してください。

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

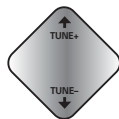
4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "St. Memory" にしてから、決定ボタンを押します

St . Memory ?

5.

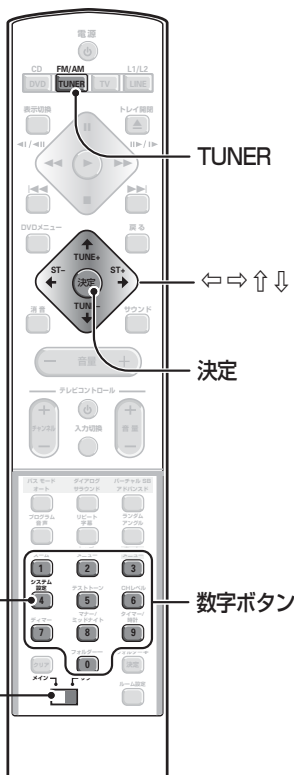
⇧ ⇩ で、記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは 1 ～ 30 までであります。

01 FM 79.50

6.

決定ボタンを押して記憶させます

注 意

◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。

記憶した放送局を呼び出しましょう

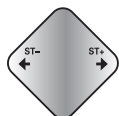
各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押します

ラジオが聞ける状態にします。

2.

⇦ ⇨ で、記憶したステーションを選びます

ステーション

リモコンの数字ボタンで選ぶこともできます

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2.

ステーション番号と同じ数字ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

（例）ステーション25 ： 2 5

ステーション18 ： 1 8

3.

決定ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定ボタン**を押さなくても選ぶことができます。

注 意

◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

DVD/DVDオーディオ/SACD/CD/MP3/ビデオCD応用編

DVDやビデオCDのスロー再生をする

DVD-Audio では、スロー再生ができません。

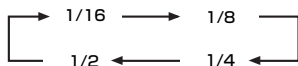
1. 再生中に、II ボタンを押して、一時停止します

2. II▶/I▶ ボタンを押し続けます

[スロー 1/16 I▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには･･･

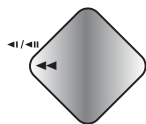
スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押します

押すたびに下記のように速さが変わります。

通常の再生に戻すには･･･

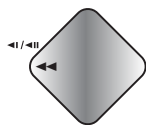
▶ ボタンを押します

DVDにて、逆方向にスロー再生するには･･･

DVDディスクではさらに、逆方向にスロー再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押し続けます

DVDにて、逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

スロー再生中に、◀I/◀II ボタンを押します

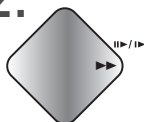
押すごとに、[スロー 1]⟷[スロー 2]が切り換わります。

注 意

◆ スロー再生中は音声が出力されません。
◆ スロー再生できないディスクもあります。
◆ Video CD では逆方向のスロー再生ができません。

DVD やビデオ CD のコマ送り再生をする

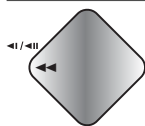
1. **再生中に、II ボタンを押して、一時停止します**

2. **II▶/I▶ ボタンを押します**

押すごとに、コマ送りします。

通常の再生に戻すには・・・

▶ ボタンを押します

DVD にて、逆方向にコマ送り再生するには・・・

DVDディスクではさらに、逆方向にコマ送り再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すごとに、逆方向へコマ送りをします。

注 意

- ◆ コマ送り再生中は、音声が出力されません。
- ◆ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ◆ 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- ◆ Video CD では逆方向のコマ送り再生はできません。
- ◆ 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- ◆ DVD-Audio には静止画が収録されているディスクがあります(114 ページ)。静止画の種類によっては、コマ送り再生のように静止画を進めたり戻したりすることができます。

MP3 のフォルダーのスキップ(頭出し)をする

押した回数だけスキップします。

次のフォルダーに進むには・・・

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **再生中に、フォルダー＋ボタンを押します**

1 回押すと、次のフォルダーに進みます。

前のフォルダーに戻るには・・・

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **再生中に、フォルダー－ボタンを押します**

1 回押すと 1 つ前のフォルダーに戻ります。
続けてフォルダーサーチボタンの－を押すと、さらに 1 つ前のフォルダーに戻ります。

メ モ

▼ MP3 について

MP3 は、フォルダ / トラックの名前を表示することができます。(半角英数字で入力された文字のみ)。MP3 について詳しくは 107 ページをご覧ください。

DVD/DVDオーディオ/SACD/ビデオCD/CD/MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

DVDのタイトル/チャプター(場面)、DVD-Audioのグループ/トラック、Video CD CD(R/RW) SACDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)を繰り返し再生します。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. リピート 字幕 **再生中に、リピートボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

DVD

チャプターリピート
↓
タイトルリピート
↓
リピートオフ

DVDオーディオ

トラックリピート
↓
グループリピート
↓
リピートオフ

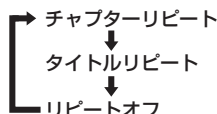
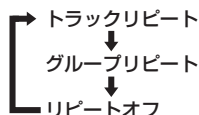
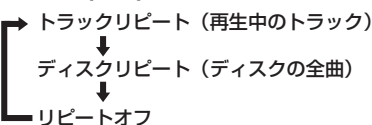
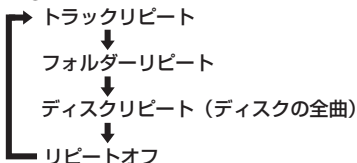
ビデオCD/CD/SACD

トラックリピート（再生中のトラック）
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ

MP3

トラックリピート
↓
フォルダーリピート
↓
ディスクリピート（ディスクの全曲）
↓
リピートオフ

リピート再生を止めるには

■ボタンを押します

メモ

▼ プログラム再生中(36、43ページ)に**リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。
▼ リピート再生中に、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えてから**クリアボタン**を押すと通常の再生に戻ります。
▼ リピート再生はプレイモード画面でも設定することができます(40ページ)。

注意

◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
◆ Video CDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
◆ リピート再生中にアングルを切り換える(37ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVD/DVDオーディオ/SACD/ビデオCD/CD/MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

DVDを順不同に再生するには

DVDのタイトルやチャプターまたは DVD-Audio のグループやトラックを順不同に再生します。

1. メイン／サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

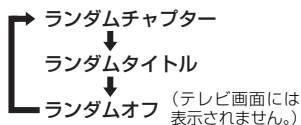
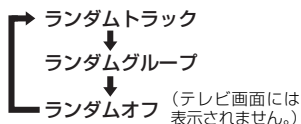
2. ランダム／アングル **ランダムボタンを押します**

テレビ画面に[**ランダムチャプター**]と表示されます。
表示中に**ランダムボタン**を押すと、以下のように切り換わります。

DVD

ランダムチャプター
↓
ランダムタイトル
↓
ランダムオフ（テレビ画面には表示されません。）

DVDオーディオ

ランダムトラック
↓
ランダムグループ
↓
ランダムオフ（テレビ画面には表示されません。）

3. **決定ボタンを押します**

再生しているタイトル／グループ内のチャプター／トラックかタイトル／グループを順不同に再生します。

Q1: SACDのランダム再生ができない。
→ SACDでは、ランダム再生ができません。

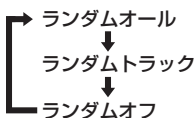
ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生するには

Video CD や CD(R/RW) のディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。 MP3 の場合は、ディスク内またはフォルダー内のトラック（曲）を順不同に再生します。

1. メイン／サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. ランダム／アングル **再生中に、ランダムボタンを押します**

MP3 では、テレビ画面に[**ランダムオール**]と表示されます。表示中に**ランダムボタン**を押すと、以下のように切り換わります。

ランダムオール
↓
ランダムトラック
↓
ランダムオフ

3. **決定ボタンを押します**

- Video CD CD(R/RW) では、ディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。
- MP3 では、[**ランダムオール**]を選択したときは、現在再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。[**ランダムトラック**]を選択したときは現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。

ランダム再生を止めるには

■ボタンを押します

メモ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次のトラックまたはチャプターを選んで再生します。
▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中のトラックまたはチャプターを始めから再生し直します。
▼ ランダム再生はプレイモード画面でも設定することができます(41 ページ)。

注 意

◆ Video CD のPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を**数字ボタン**で入力し、それからランダムボタンを押します。
◆ ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。
◆ VR DVD-RW ではランダム再生ができません。
◆ ランダム再生を繰り返すことはできません。また、ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

CDやMP3/SACDの聞きたい曲を好きな順番で聞く(プログラム再生)

聞きたい曲を最大24ステップまで、好きな順番に登録することができます。

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. **停止中にプログラムボタンを押します**

P– 00　　0′ 00″

CDの場合は上記のように表示されます。すでにプログラムされているときはプログラム総再生時間を表示します。

3. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

4. **(MP3 のみ) 聞きたい曲のフォルダー番号の数字ボタンを押してから、⇨ を押します**

フォルダー7を選んだときは、数字ボタンの**7**を押してから、⇨**ボタン**を押します。
⇨ の代わりに決定ボタンを押すと、選んだフォルダーごとプログラム登録することができます。

7–　ALL

5. **聞きたい曲の番号の数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します**

15曲目を選んだときは、数字ボタンの**1**と**5**を押してから、**決定ボタン**を押します。
例) MP3 のフォルダー2の15曲目を入力したとき(このとき ⇦ を押すとフォルダーの選択に戻ります)

2–　15

例) CDの4曲目を入力したとき

P–01　4

6. 手順4と5を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します

CDのときは、手順5だけを繰り返します。

7. ▶ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

停止中にクリアボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- 停止中に**クリアボタン**を押したとき
- 本体の⏏ OPEN/CLOSEボタンまたはリモコンの⏏ トレイ開閉ボタンを押して、ディスクを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- 入力をTUNER、TV、またはLINEのいずれかに切り換えたとき

メモ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後のステップに移ります。
▼ プログラム再生中にリピートボタンを押すと、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**
▼ 一度停止してから、もう一度プログラム再生するときは、**プログラムボタン**を押してから**▶ボタン**を押します。
▼ DVD-Video やDVD-Audio 、Video CD などのディスクのときはプレイモード画面の設定になります(43ページ)。この場合、**プログラムボタン**を押すと、ディスクの再生中でもプレイモード画面になります。
▼ CD(R/RW) やMP3 、SACD の再生中はプレイモード画面での設定になります。
▼ MP3 の場合、プログラム総再生時間の表示はできません。

ビデオCDの音声を切り換える

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えて音声ボタンを押します

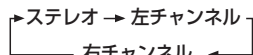
メイン サブ

プログラム 音声

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

→ステレオ → 左チャンネル → 右チャンネル →(ステレオに戻る)

ステレオの表示例

音声　ステレオ

メモ

▼ CD、MP3およびSACDの音声を切り換えることはできません。
▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

DVDの映像のアングルを切り換える（マルチアングル）

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます。詳しくは110、113ページをご覧ください。

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

メイン サブ

2. アングルボタンを押します

ランダム アングル

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すごとにアングルが切り換わります。

アングル　現在/総数 2/4

メモ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。
▼ 🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
▼ 🎥マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(81 ページ)

映像を拡大して見る（ズーム）

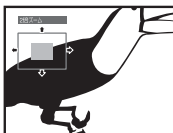
1. メイン　サブ

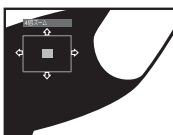
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

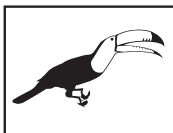
2. ズーム 1

ズームボタンを押します

ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1 回押すと・・・

・・・2 倍に拡大！

2 回押すと・・・

・・・4 倍に拡大！

3 回押すと・・・

・・・通常の映像に戻る

3.

ズームエリア表示中に⇧⇩⇦⇨でズームエリアを移動します

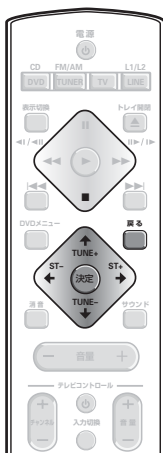
メ モ

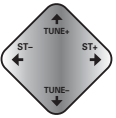
▼ 約5秒間ボタン操作がないと、ズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度**ズームボタン**を押してズームエリア表示してください。
▼ ズーム中は字幕が表示されません。
▼ DVD-Video のメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。
▼ Video CD でも画面の一部を拡大して見ることができます。

応用編　ディスクを再生する

プレイモード画面でいろいろな操作をする

プレイモード画面などのテレビに表示された設定画面の操作は、以下のボタンを使用します。

ボタン	操作内容
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	操作 / 設定の途中で画面をオフにする。

Q&A

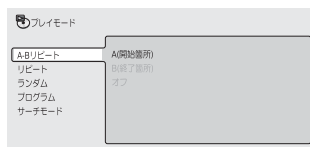
Q ：設定画面が表示できない

→ Video CD のPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してください。(27ページ)

→ DVD-Video のディスクメニュー表示中にプレイモード画面を表示することはできません。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ホームメニューボタンを押して、設定画面を表示させます

3. [プレイモード]を選んでから、決定ボタンを押します

4. 項目を選択します

- **A-B リピート(40 ページ)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(40～41 ページ)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(41～42 ページ)**
  チャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(43～45 ページ)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(46～48 ページ)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

選んだ項目についての操作方法は、それぞれのページを参照して操作してください。

指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

1. **再生中に、プレイモード画面から、[A-Bリピート]を選択して、⇨ を押します**

39 ページを参照してください。

2. **A-B リピートを開始したい箇所で、[A(開始箇所)]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **A-B リピートを終了したい箇所で、[B(終了箇所)]を選択して決定します**

- A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･

[オフ]を選択して決定します

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

◆ MP3 は A-B リピート再生ができません。
◆ 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
◆ A-Bリピート再生できないディスクもあります。

DVD を繰り返し再生する(リピート再生)

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。
DVD-Audio では、グループ / トラックをリピート再生します。

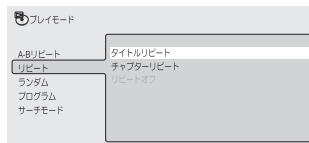
DVD を繰り返し再生するには

1. **繰り返したいタイトルまたはチャプター(場面)を再生します**

2. **プレイモード画面から、[リピート]を選択して、⇨を押します**

39 ページを参照してください。

3. **リピート再生の種類を選択して決定します**

- リピート再生を開始します。

- **タイトル／グループリピート**
  現在再生中のタイトル／グループを繰り返し再生します。
- **チャプター／トラックリピート**
  現在再生中のチャプター／トラックを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

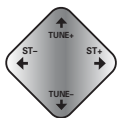
メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
▼ リピート再生できないディスクがあります。
▼ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
▼ リピート再生中にアングルを切り換える(37 ページ)と、リピート再生は解除されます。

ビデオCD、CD、MP3、SACDを繰り返し再生する（リピート再生）

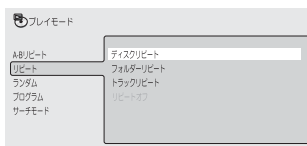
Video CD / CD(R/RW) / SACD のトラック(曲)、MP3 のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

1. 繰り返したい曲を再生します

2. 再生中に、プレイモード画面から、[リピート]を選択して、⇨を押します

39 ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

MP3 のリピート画面

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- **フォルダーリピート**
  （MP3 のみ）
  現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- **トラックリピート**
  現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

注 意

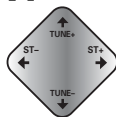
◆ Video CD のPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を**数字ボタン**で入力し、それから**リピートボタン**を押します。

メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
▼ リピート再生できないディスクがあります。
▼ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

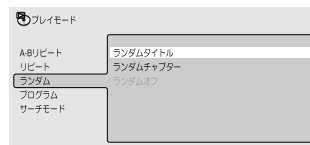
DVDを順不同に再生する（ランダム再生）

DVD のタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。
DVD-Audio では、グループ / トラックをランダム再生します。

1. プレイモード画面から、[ランダム]を選択して、⇨を押します

39 ページを参照してください。

2. ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します

- ランダム再生を開始します。
- 本体表示窓に[RDM]と点灯します。

DVD-Video のランダム画面

- **ランダムタイトル / グループ**
  現在再生中のタイトル / グループを順不同に再生します。

- **ランダムチャプター / トラック**
  現在再生中のタイトル / グループ内のチャプター / トラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

メ モ

▼ ディスクを停止するとランダム再生は解除されます。
▼ ランダム再生中に▶▶|を押すと、順不同に次のチャプター／トラックを選択して再生します。また、|◀◀を押すと、現在再生中のチャプター／トラックの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のチャプター／トラックより前のチャプター／トラックに戻ることはできません。

注 意

◆ ランダム再生できないディスクがあります。
◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
◆ VR DVD-RWではランダム再生ができません。

ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

Video CD または CD(R/RW)、MP3 のトラックを順不同に再生することができます。

1. **プレイモード画面から、[ランダム]を選択して、⇨を押します**

39ページを参照してください。

2. **ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します**

ランダム再生を開始します。

MP3 のリピート画面

MP3 の場合

- **ランダムオール**
  現在再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。
- **ランダムトラック**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

Video CD CD(R/RW) の場合

- **オン**
  トラックを順不同に再生します。
- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

メ モ

▼ ディスクを停止するとランダム再生が解除されます。
▼ ランダム再生中に▶▶|を押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、|◀◀を押すと、現在再生中のトラックの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のトラックより前のトラックに戻ることはできません。

注 意

◆ Video CD のPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからランダムボタンを押します。
◆ ランダム再生できないディスクがあります。
◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。

順番を変えて再生する（プログラム再生）

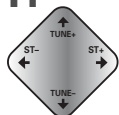
24 ステップまでプログラム登録をすることができます。

DVD-Audio では、グループ / トラックを選択します。

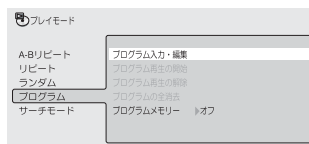
メ モ

▼ DVDの場合、リモコンのメインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えてから**プログラムボタン**を押すと、プログラム入力のプレイモード画面が表示されます。この場合は手順 3 から始めてください。

DVD のタイトルやチャプターの順番を変えて再生するには

1. **プレイモード画面から、「プログラム」を選択して、⇨ を押します**

39 ページを参照してください。

2. **[プログラム入力・編集] を選んでから、決定ボタンを押します**

[プログラムメモリー] はDVDのときのみ選択することができます(45 ページ)。

3. **プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して決定します**

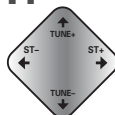
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

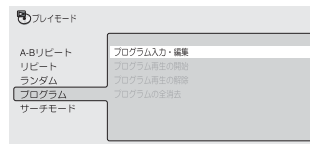
4. **手順 3 を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムします**

5. **▶ ボタンを押します**

- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に[PGM]と表示されます。

CD、ビデオ CD、SACD、MP3 のトラックやフォルダーの順番を変えて再生するには

1. **プレイモード画面から、[プログラム]を選択してから、⇨を押します**

39 ページを参照してください。

2. **[プログラム入力・編集] を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **プログラムしたいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します**

ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。

- MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。

- Video CD CD(R/RW) SACD では、トラックのみを選択します。
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

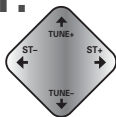
4. 手順 3 を繰り返して他のフォルダー/トラックをプログラムします

5. ▶ ボタンを押します

- プログラムした順に再生を開始します。

ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例) プログラムステップ 02 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する場合

1. カーソルをステップ 02 に合わせます

2. タイトル 1 のチャプター 7 を選んでから、決定ボタンを押します

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ 02 にあったタイトル / チャプターは新しいプログラムの後ろに移動します。

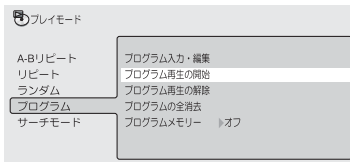
入力中にプログラムを削除するには･･･

例) プログラムステップ 02 のプログラムを削除する場合

1. カーソルをプログラムステップ 02 に合わせます

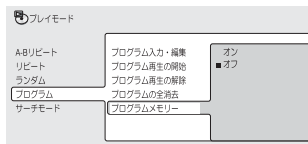
2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えてからクリアボタンを押します

プログラムステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったタイトル/チャプターが 1 つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

DVDビデオにてプログラムした内容を記憶するには・・・(プログラムメモリー)

DVD-Video を取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。
プログラムメモリーは DVD-Video をプログラムしたときのみ選択することができます。

1. **[プログラムメモリー]を選択してから、⇨ を押します**

2. **[オン]を選んでから、決定ボタンを押します**

プログラムメモリーを解除するときは[**オフ**]を選択して、決定します。

メ モ

▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。
▼ VR DVD-RW では、プログラム再生ができません。
▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択します(40、41ページ)。
▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
▼ プログラム再生中に▶▶|を押すと、次のプログラムステップのタイトル/チャプターを再生します。

注 意

◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

見たい場面を探す (サーチモード)

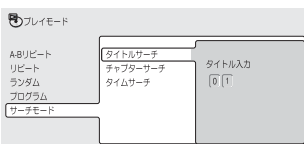
DVD の見たい場面を探すには

DVD-Audio では、グループサーチ / トラックサーチを選択します。

1. *プレイモード画面から、[サーチモード]を選択して、⇨を押します*

39 ページを参照してください。

2. **サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します**

DVD-Video のサーチモード画面

- **タイトル / グループサーチ**
  タイトル / グループを指定して再生する。
- **チャプター / トラックサーチ**
  チャプター / トラックを指定して再生する。
- **タイムサーチ(DVD-Audio は除く)**
  時間を指定して再生する。

3. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

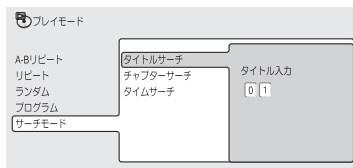
4. **数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力します**

入力を間違えたときは**クリアボタン**を押します。

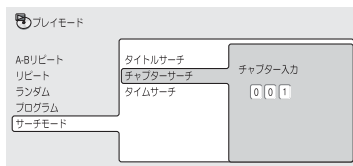
5. **決定ボタンを押します**

指定したタイトル／グループ、チャプター／トラック、または時間から再生を開始します。

タイトル / グループサーチを選択したとき･･･

DVD-Video のタイトルサーチ画面

例えば、タイトル3を再生するには、3を押してから**決定ボタン**を押します。

チャプター / トラックサーチを選択したとき･･･

DVD-Video のチャプターサーチ画面

例えば、チャプター 12 を選択するには、1, 2 を押してから**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

再生中だけの操作となります。

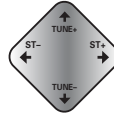
例えば、

・ 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して**決定ボタン**を押します。
・ 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0を押して**決定ボタン**を押します。

メ モ

- ▼ DVD-Video では、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンのDVDメニューボタンでディスクメニューを表示させてサーチしてください。
- ▼ DVD-Audio ではタイムサーチはできません。
- ▼ DVD-Audio には、静止画が収録されているディスクがあります(114ページ)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。

CD、ビデオCD、SACD、MP3の再生したい場面を探すには

1. **プレイモード画面から、[サーチモード]を選択して、⇨を押します**

39ページを参照してください。

2. **サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します**

MP3 のサーチモード画面

- **フォルダーサーチ(MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。
- **タイムサーチ(Video CD のみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。

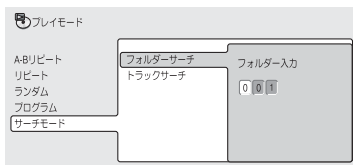
3. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換える**

4. **数字(0～9)ボタンで再生したいフォルダー/トラック、または時間を入力します**

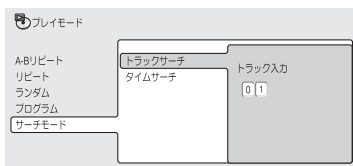
5. **決定ボタンを押します**

指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

フォルダーサーチを選択したとき･･･

MP3 だけの機能となります。

例えば、フォルダー３を再生するには、**3** を押してから**決定ボタン**を押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

Video CD のトラックサーチ画面

例えば、トラック 12 を選択するには、**1**, **2** を押してから**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

Video CD を再生しているときだけの機能となります。

例えば、
- 21 分 43 秒を選ぶには、**2**, **1**, **4**, **3** を押して**決定ボタン**を押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、**6**, **4**, **0**, **0** を押して**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q ：タイムサーチができない

→ SACD 、MP3 、または CD(R/RW) ではタイムサーチができません。

Q ：SACD のトラック 1 が指定できない。

→ ２枚組以上の SACD では、２枚目以降のディスクの 1 曲目がトラック 1 でないことがあります。例えば、ディスク1に10曲、ディスク2に10曲収録されている SACD では、ディスク2の1曲目がトラック11となることがあります。

ディスクナビゲーターを使って再生する

見たいタイトルやチャプターを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

DVDを再生するには

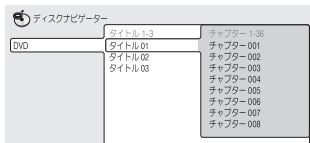
1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える**

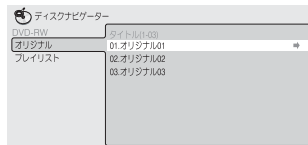
2. ホームメニュー 3 **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます**

VR DVD-RWでは、DVDメニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順4に進んでください。

3. **[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します**

4. **カーソルをタイトル、またはチャプターに移動します**

DVD-Video のディスクナビゲーター画面

VR DVD-RW のディスクナビゲーター画面

プレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選択して再生することができます。

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

映像を確認してから再生するには(プレビュー)･･･

停止中に確認したいタイトルを選択して ⇨ を押す。

タイトルの先頭の画像を表示します。

5. **再生したいタイトル、またはチャプターをを選んでから、決定ボタンを押します**

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

メ モ

▼ **オリジナルとは**

DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

▼ **プレイリストとは**

オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

CD、ビデオCD、MP3を再生するには

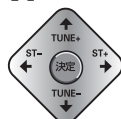
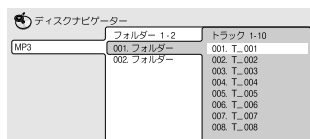
1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

DVDメニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順4に進んでください。

3. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

4. 再生したいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します

再生を開始します。

MP3 のディスクナビゲーター画面

半角英数字以外の名前のフォルダー / トラックでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名が「T_035」のように表示されることがあります(**MP3** のみ)。

Q&A

Q ：ホームメニュー画面が表示できない

→ **Video CD** のPBC再生中はホームメニュー画面を表示することができません。この場合、停止中にホームメニュー画面を表示させるか、PBC再生を解除してください（27ページ）。

ディスクの情報を見る

テレビ画面にて、DVD のディスクの情報を見るには

DVD-Audio ではグループ / トラックの情報が表示されます。

再生中に、表示切換ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

現在再生中のタイトル／トラックの情報が表示されます。

例）DVD-Video VR DVD-RW のタイトル情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語		アングル 1

2 回押すと･･･

現在再生中のチャプター／グループの情報と転送レート * が表示されます。

例）DVD-Video のタイトル情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート：	■■■■■■■■■■■■■■■■■			8.1Mbps

例）VR DVD-RW のタイトル情報画面

再生	► DVD-RW	オリジナル	チャプターリピート
	現在/総数		
チャプター	1/36		
転送レート：	■■■■■■■■■■■■■■■■■		8.1Mbps

3 回押すと･･･

表示が消えます。

* *転送レートとは、DVD に記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが画質が良いとはかぎりません。*

テレビ画面にて、CD、ビデオ CD、SACD、MP3 の情報を見るには

表示切換

再生中に、表示切換ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

- MP3 CD(R/RW) SACD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例）MP3 のトラックの情報画面

再 生	► MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

2 回押すと･･･

- MP3 では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- Video CD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(R/RW) SACD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例）MP3 のフォルダーの情報画面

再 生	► MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	Folder1	

3 回押すと･･･

表示が消えます。

Q&A

Q ：時間情報などが表示されない

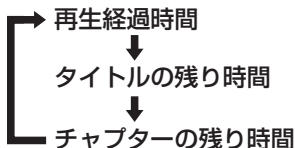
→ ファイナライズ（106 ページ）していない CD(R/RW) ディスクでは一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください（27 ページ）。

ディスプレイユニットにて、DVDビデオまたはDVD-RWの情報を見るには

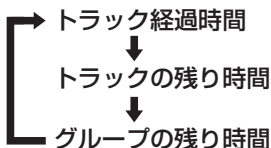
表示切換

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

ディスプレイユニットにて、DVDオーディオの情報を見るには

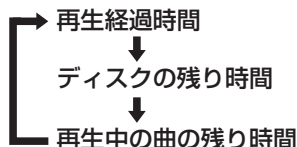
表示切換

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

ディスプレイユニットにて、ビデオCDの情報を見るには

表示切換

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

注 意

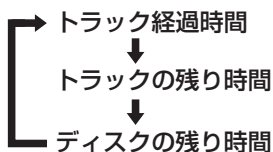
◆ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください。

ディスプレイユニットにて、SACD または CD の報情を見るには

表示切換

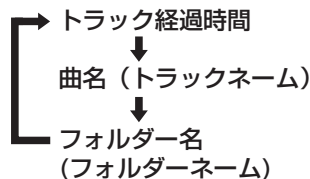
再生中に、表示切換ボタンを押します

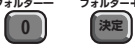
押すごとに、以下のように切り換わります。

トラック経過時間
↓
トラックの残り時間
↓
ディスクの残り時間

ディスプレイユニットにて、MP3 の情報を見るには

表示切換

再生中に、表示切換ボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

JPEG ファイルを再生する

基本的な使いかた

メ モ

▼ **再生する前に確認してください。**
電源は入っていますか？（6ページ）、ディスクは入っていますか？（8ページ）、**[フォトビューワー]**が**[オン]**に設定されていますか？（89ページ）

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	▶	• ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。 • JPEG画像が次々と表示されます(スライドショー)。
停止する	■	次回は停止した箇所のあるフォルダーの１番目の画像から再生を開始します。 本機の電源を切ったり、ディスクを取り出したとき、または入力をTUNER、TV、LINEのいずれかに切り換えたときは最初のフォルダーからの再生となります。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に▶、または**II ボタン**を押します。ファイル読込中は操作できません。
画像を切り換える	I◀◀　▶▶I	• スライドショー表示中は、前/次の画像に切り換わります。 • 一覧(フォトブラウザー)表示中は、画像が９枚ずつ切り換わります。
画像を指定して再生する	メイン／サブ　1〜9、0、決定	見たい画像の番号を**数字(0〜9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 **例)** 12番目の画像を再生するには **1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。
フォルダーを指定する	メイン／サブ　フォルダー－ 0　フォルダー＋ 決定	再生中に押すことでフォルダーを１つ送ったり戻したりします。この場合は選んだフォルダーの１番目の画像が選ばれます。

Q&A

Q1: JPEG ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ JPEG を記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。
→ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していないまたは拡張子が.jpgでない。
→ 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースライン JPEG ファイルではない。
→ [フォトビューワー]が[オフ]に設定されていませんか？（89ページ）

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

見たいフォルダーやファイルを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

メイン サブ

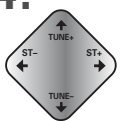
2. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

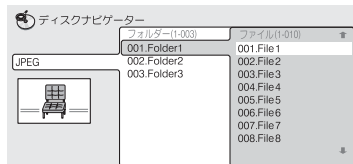
ホームメニュー 3

DVD メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順4に進んでください。

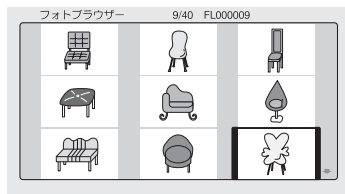
3. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

4. 再生したいフォルダーを選択します

半角英数字以外で入力されているフォルダー/ファイルの名前は[F_033]/[FL_035]のように表示されることがあります。

• ファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。一覧(フォトブラウザー)画面を見ない場合は、手順6に進んでください。

5. フォルダーを選択した状態で決定して、一覧(フォトブラウザー)画面を表示させます

決定

テレビ画面に9枚の画像が表示されます。

• 一番下の行で ⇩ を押すと9枚目以降の画像が表示されます。
• |◀◀ ▶▶| **ボタン**を押すと画像が9枚ずつ切り換わります。
• ディスクナビゲーター画面に戻りたいときは、**戻るボタン**を押してください。

6. 画像を選んでから、決定ボタンを押します

スライドショーが始まります。

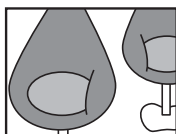
画像を拡大して見ましょう(ズーム)

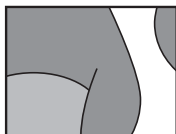
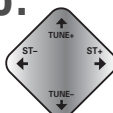
1. メイン サブ

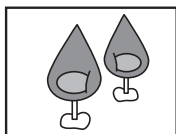
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ズーム 1

ズームボタンを押します

１回押すと・・・

・・・２倍に拡大！

２回押すと・・・

・・・４倍に拡大！

３回押すと・・・

・・・通常の映像に戻る

3.

⇧⇩⇦⇨ で拡大する場所を移動します

通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

メ モ

- ▼ JPEG の画像をズーム中はズームエリアが表示されません。
- ▼ 画像を拡大しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► ボタンを押します。
- ▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[Loading]と表示されます。読み込み中に画像を拡大することはできません。

画像を回転させましょう

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. ランダム アングル

アングルボタンを押します

押すたびに時計回りに90°画像が回転します。

メ モ

- ▼ 画像を回転しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。
- ▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[Loading]と表示されます。読み込み中に画像を回転することはできません。

ディスクの情報を見ましょう

1. 表示切換

再生中に、画面表示ボタンを押します

１回押すと・・・

現在再生中のファイルの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
ファイル	現在/総数 1/40
ファイル名	File1

２回押すと・・・

現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
フォルダー	現在/総数 1/40
フォルダー名	Folder1

３回押すと・・・

表示が消えます。

メ モ

- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されている JPEG を再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- ファイルサイズが大きいときは、画像の表示に時間がかかることがあります。
- JPEG と MP3 が混在しているディスクでは、両方のファイルを同時に再生することはできません。再生するファイルを変更するときは、[フォトビューワー]の設定を変更してください（89 ページ）。
- JPEG 再生時は、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生はできません。

サラウンド再生を楽しむ

本機では、お聴きになるソフトのジャンルに合わせて、以下の中から最適なサウンドを選択することができます。

- **オート （Auto）2.1ch 5.1ch**
  CDなどステレオで収録されている音声はステレオで、DVDなどマルチチャンネルで収録されている音声は、記録された音声に応じた音を出して再生します。

- **ドルビープロロジック（Pro Logic）5.1ch**
  従来のドルビープロロジックと同等の再生モードです。特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴すると効果的です。

- **ドルビープロロジック II ムービー（PL II Movie）5.1ch**
  5.1ch化します。映画再生に適したモードで、特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴するとより効果的です。サラウンドｃｈへのダイアローグの漏れ込み（クロストーク）を聞こえにくくする処理などもあり、ドルビーデジタル5.1に迫るセパレーションや移動感などが得られます。

- **ドルビープロロジック II ミュージック（PL II Music）5.1ch**
  5.1ch化します。音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース（CDなど）を再生するときに効果的です。サラウンドｃｈは定位よりも包囲感を重視しています。

- **ステレオ（Stereo）2.1ch**
  あらゆる入力信号についてステレオ再生（左右2つのフロントスピーカーとサブウーファーのみによる再生）します。

お買い上げ時は、オート（Auto）に設定されています。

オート（ソフトに忠実な再生）

オート （Auto）

再生信号の音声フォーマットに合わせて、サラウンドモードを自動的に切りかえます。

- CD(R/RW) や Video CD 、 MP3 の再生時、ラジオ放送、テレビ入力やLINE1、LINE2の音声は、ステレオ（Stereo）になります。
- DVDの再生やLINE1のデジタル入力の音声は、記録された音声によって、ステレオとマルチチャンネル再生を自動で切り換えます。

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. バス モード　オート

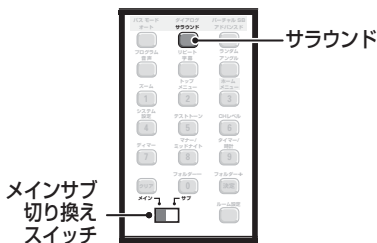
オートボタンを押します

「オート」モードを解除するときは、**サラウンドボタン**か**アドバンスドボタン**を押して、お好みのモードを選んでください。

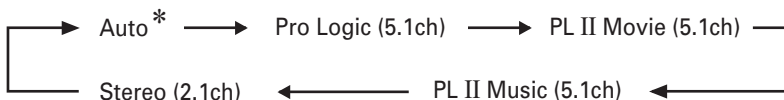
サラウンド

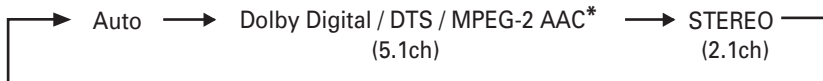
ステレオモードと各音声フォーマットに最適なサラウンドモードを切り換えることが出来ます。

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. ダイアログ サラウンド

サラウンドボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

■ 2チャンネル信号（PCM（CD音声）など）を再生している場合

* Autoは、音声フォーマットに応じたサラウンドモードに、自動で切り換えます。

■ マルチチャンネル信号を再生している場合

* 各音声フォーマット(Dolby Digital/ DTS/ MPEG-2 AAC)に応じて、忠実にデコードして再生します。（Autoも同じ効果になります。）また、ディスプレイユニットにデコード名称が表示されます。
各音声フォーマットについては、110、111、114ページを参照してください。

メモ

- ▼ 各入力ごとに、それぞれ独立してサラウンドまたはアドバンスドモードを設定することができます。
- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ステレオ(Stereo)しか選択できません。
- ▼ SACD または DVD-Audio を再生しているとき、サラウンドモードを選択することはできません。
- ▼ 88.2/96kHz リニアPCM信号を再生しているときは、自動的にステレオ（Stereo）に切り換わり、サラウンドモードを選択することはできません。
- ▼ サラウンドモード表示中に↑↓ボタンを押すことでモードを切り換えることもできます。

Q&A

Q：**サラウンドやセンタースピーカーから音が出ない！または、音が小さくて物足りない！**

→ **サラウンドボタン**、または**アドバンスドボタン**を押して、各モードをお試しください。

→ **CHレベルボタン**で、各スピーカーからの再生音を調整することができます。（91ページ）

アドバンスド（パイオニアオリジナルのサラウンド効果）

フロントスピーカーに加え、センタースピーカーやサラウンドスピーカーも使い、パイオニアオリジナルのサラウンド効果を加えて再生するときのリスニングモードです。（ヘッドホンを差している状態では、ヘッドホンサラウンド(Phones Surround)しか選択できません。）
88.2/96kHz リニアPCM信号、SACDまたはDVD-Audioディスクを再生しているときは、アドバンスドモードのサラウンド効果を楽しむことはできません。

- ミュージック（Adv. Music） 5.1ch
  音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース（CDなど）に限らずドルビー、DTS エンコードされた音楽作品を再生する時にも効果的です。コンサートホールのような雰囲気を味わうことができます。

- ムービー（Adv. Movie） 5.1ch
  映画再生に適したモードです。特にドルビー、DTS エンコードの映画作品をこのモードで視聴するとより効果的で、映画館で映画を楽しんでいる雰囲気を味わうことができます。

- エキスパンデッド（Expanded） 5.1ch
  ドルビーサラウンドや2チャンネルで録音されているソースに対しては、5.1ｃｈサラウンドのような効果を実現します。また、ドルビーデジタルやDTS などの5.1chサラウンドソフトを再生しているときも、より拡がりのある音場を実現します。

- TVサラウンド（TV Surr.） 5.1ch
  テレビ放送のほとんどの割合を占めるモノラル信号やステレオ信号もマルチチャンネルサラウンドで再生します。モノラル放送の古い映画などをマルチチャンネルサラウンドでお聴きになりたいときに効果的です。

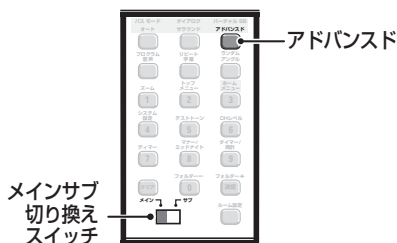
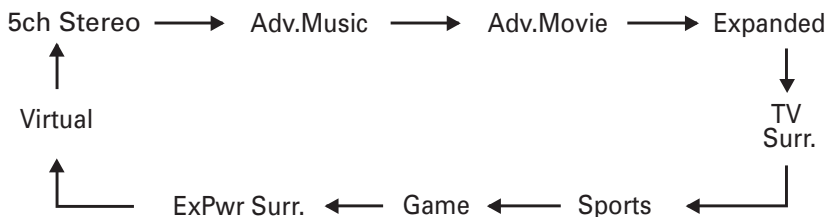
- スポーツ（Sports） 5.1ch
  スポーツ中継の臨場感を体感できるモードです。会場の雰囲気をマルチチャンネルサラウンドで再現します。

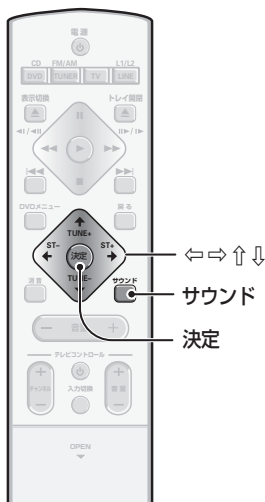
- ゲーム（Game） 5.1ch
  ゲームのスピード感、躍動感をよりいっそう高めます。シューティングゲームやレーシングゲーム等、右へ左へ駆け巡るような流れのあるシーンの多いゲームに効果的です。

- エキストラパワーサラウンド（ExPwrSurr.） 5.1ch
  フロントスピーカーからの音に加え、サラウンドスピーカーからも力強いサラウンド効果をお楽しみいただけます。

- バーチャル　サラウンド（Virtual） 2.1ch
  マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感を2つのフロントスピーカーとサブウーファーでお楽しみ頂けます。

- 5ch Stereo **5.1ch**
  標準のステレオ（2チャンネル）音声を加工することなく、5.1チャンネルにて再生しますので、部屋のどの場所にいてもステレオ感をお楽しみいただけます。

- ヘッドホンサラウンド（Phones Surround） **2 ch**
  ヘッドホンで聴くときに、マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感をお楽しみ頂けます。

メ モ

- ▼ 各入力ごとに、それぞれ独立してサラウンド（59ページ）またはアドバンスドモードを設定することができます。
- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ヘッドホンサラウンド（Phones Surround）のみ選択することができます。
- ▼ 2ch 再生にしたいときは**サラウンドボタン**を押してステレオ（Stereo）を選択してください。
- ▼ 88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているときは、アドバンスドモードを選択することはできません。
- ▼ SACD または DVD-Audio を再生しているとき、アドバンスドモードを選択することはできません。
- ▼ アドバンスドモード表示中に **↑↓ ボタン**を押すことでモードを切り換えることもできます。

パイオニアオリジナルのサラウンド効果レベルを調整する

1. アドバンスドボタンを押してパイオニアオリジナルのサラウンドモードにします（60 ページ参照）

2. サウンドボタンを押します

3. ⇦ ⇨ を押して、"Effect" を選択します

```
Effect   70
```

4. ⇧ ⇩ で、効果レベルを調整してから決定ボタンを押します

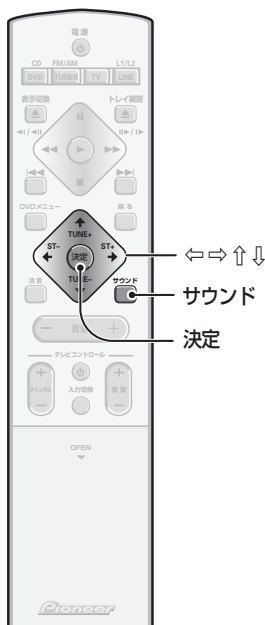
現在設定されているサラウンド効果を、10 から 90 までの範囲で調整することができます。

ドルビープロロジック II ミュージックモードに音響効果を加え、調整する

ドルビープロロジック II ミュージックモードには３つの音響効果を加え、その効果を調整することができます。それぞれの説明は以下の通りです。

C Width (CENTER WIDTH)：
センターチャンネルの音声を左右のフロントスピーカーに振り分けて出力することで、音色の不一致を緩和させることが可能になり、音楽再生により適した音場を創り出すことができます。効果は0〜7の範囲で調整することができます。0がセンタースピーカーからのみの出力で、7はセンターチャンネルの音声すべてを左右のフロントスピーカーに振り分けます。お買い上げ時は３に設定されています。

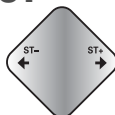
Dimen. (DIMENSION)：
リスニングポジションから前方の音場を強くするか、後方の音場を強くするかを調整することで、拡がりのある音場を創り出すことができます。－３から＋３の範囲で調整することができます。－３はリスニングポジションから前方の音場が強くなり、＋３はリスニングポジションから後方の音場が強くなります。お買い上げ時は０に設定されています。

Pnrm. (PANORAMA)：
前方の音場を左右に大きく回り込ませ、サラウンドchに繋げるようなサラウンド効果を加えます。正確な定位よりも雰囲気を楽しむための機能です。オンまたはオフの設定で、お買い上げ時はオフに設定されています。

1. PL Ⅱ Music モードにします（58 ページ参照）

2. サウンド

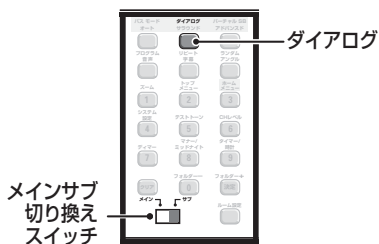
サウンドボタンを押します

3. ⇦ ⇨ を押して、"C Width"、"Dimen."、"Pnrm." の中から加えたい音響効果を選択します

それぞれの音響効果の詳しい説明は前ページを参照してください。

4. ⇧ ⇩ で、効果レベルを調整してから決定ボタンを押します

各設定の調整については前ページを参照してください。

セリフやボーカルを強調して再生する

この機能を使うと、簡単な操作でセリフやボーカルを明瞭に再生させることができます。
3 種類の中からお好きな効果を選ぶことができます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **ダイアログボタンを押します**

押すごとに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質

Dialog Off

- ダイアログ効果で再生します。

Dialog Mid

- 強いダイアログ効果で再生します。

Dialog Max

メ モ

▼ 88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているときは、**ダイアログボタン**で音質を切り換えることはできません。
▼ MPEG-2 AAC 信号入力されているときは、**ダイアログボタン**で音質を切り換えることはできません。
▼ 再生しているソースが DVD-Audio または SACD のときはこの設定はできません。

応用編
サラウンド再生

バーチャルサラウンドバックモードで再生する

この機能を使うと、まるでサラウンドバックチャンネル(サラウンドチャンネルの後方中央)から音が出ているかのように出力します。6.1ch 再生のような効果を楽しむことができます。

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2.
バーチャルSBボタンを押します

押すごとに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質（お買い上げ時の設定）

Vir. SB　Off

- 仮想のサラウンドバックスピーカーがオンの設定

Vir. SB　On

メ モ

▼ 以下のときはバーチャルSBボタンで音質を切り換えることはできません。
- ・88.2／96kHz リニア PCM 信号を再生しているとき
- ・MPEC-2 AAC信号が入力されているとき
- ・SACD または DVD-Audio を再生しているとき
- ・ヘッドホンプラグを差しているとき
- ・2.1ch のサラウンドまたはアドバンスドモードを選択しているとき

▼ サラウンドチャンネルの効果がないソースでは、バーチャルサラウンドバックの効果を得ることはできません。

低音を強調して再生する

この機能を使うと、簡単な操作で低音だけを強調して再生させることができます。
また、低音の強調の違いで、3 種類の中からお好きな音質を選ぶことができます。
2.1ch と 5.1ch の2つのモードで設定することができます。

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2.
バスモードボタンを押します

バス モード
オート

押すごとに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質

Off

- 重低音を補正して、臨場感を増やした設定で、音楽ライブの DVD にお勧めです。

Music

- MUSIC よりも更に低音を強調した設定で、アクションシーンや戦闘、爆発音の多い映画ソフトにお勧めです。

Cinema

- CDなどの音楽ソフトで、低音を強調したいときにお勧めです。

P . Bass

注 意

◆ ヘッドホンプラグを差しているときは、バスモードボタンによる音質の変更はできません。

◆ SACD または DVD-Audio を再生しているときはこの設定はできません。

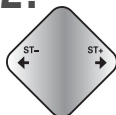
高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. サウンド

サウンドボタンを押します

2.

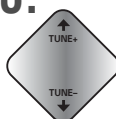
⇦ ⇨ で "Bass" か "Treble" を選びます

- 低音の音質を調整します

Bass　　0

- 高音の音質を調整します

Treble　　0

3.

⇧ ⇩ で音質のレベルを調整します

調整範囲は、±３までです。

4.

決定ボタンを押します

メ モ

▼ 以下の状況でヘッドホンプラグを差しているときは、高音と低音の調整はできません。
　・録音モードが ON に設定されているとき（102 ページ）。
　・ SACD または DVD-Audio を再生しているとき

▼ ミッドナイトまたはマナーモードを選択しているときは、高音と低音を調整することはできません。高音と低音の調整をしたいときはミッドナイトまたはマナーモードを「Off」にしてください。

小さい音でサラウンドを楽しむ

・ **ミッドナイト**

音量を小さくすると、サラウンドサウンドが弱くなったり、微小な音が聴きにくくなることがあります。この機能をオンにしますと、音量を小さくしても、ほどよい臨場感と高域のクリア感を確保することができるモードです。これにより、夜間に音量を小さくして映画を楽しむ場合でも、ほどよい迫力とクリア感により、聞きやすくなります。

・ **マナー**

夜間に音楽や映画を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の爆発音などで低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。

1. メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. マナー/ミッドナイト 8

マナー / ミッドナイトボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

- 通常の音質（お買い上げ時の設定）

Off

- マナーがオンの設定

Manner

- ミッドナイトがオンの設定

Midnight

メ モ

▼ ミッドナイトまたはマナーモードを選択しているときは高音と低音を調節することはできません。

▼ 以下の状態でヘッドホンプラグを差しているときは、マナー / ミッドナイトの設定はできません。
　・録音モードが ON のとき（102 ページ）。
　・ SACD または DVD-Audio を再生しているとき

応用編
サラウンド再生

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させせることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前７時40分に再生がスタートし、午前８時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. FM/AM TUNER / CD DVD / TV / L1/L2 LINE

再生させたい機器の準備をします

ラジオ放送で目覚めるには....

TUNERボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

CDやMP3、DVDで目覚めるには....

ディスクをセットし、**DVDボタン**を押します。

テレビで目覚めるには....

TVボタンを押して、接続したテレビの準備しておきます。

外部機器で目覚めるには....

LINEボタンを押して、LINE1かLINE2を選択した後、外部機器の再生を準備しておきます。

2. **音量の調整を行います**

設定した音量でタイマーがオンします。

－ 音量 ＋

3. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

4. タイマー/時計 9 **タイマー／時計ボタンを２回押します**

5. ST− 決定 ST+ **⇦ ⇨ で "Wake－Up"を選んでから、決定ボタンを押します**

Wake－Up?

6. ST− 決定 ST+ **⇦ ⇨ で "TimerEdit" を選んでから、決定ボタンを押します**

TimerEdit?

7. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"7 am" にします。

On 7 : 00 am

8. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"40" にします。

On 7 : 40 am

再生開始時刻が設定されます。

9. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"8 am" にします。

Off 8 : 40 am

10. ⇧⇩で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、15にします

Off 8 : 15 am

決定ボタンを押すと、設定内容が表示され、⏻ が点灯します。

11 電源ボタンを押して電源をオフにします

本体のタイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止するには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除／再設定するには

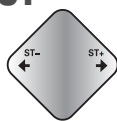
1. 電源ボタンを押して電源をオンにします

2. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. タイマー／時計ボタンを2回押します

4. ⇦ ⇨で"Wake－Up"を選んでから、決定ボタンを押します

Wake－Up?

5. 目覚ましタイマーをセットする場合は、⇦ ⇨ で"Timer On"にします

Timer On?

目覚ましタイマーを解除する場合は、⇦ ⇨ で"Timer Off"にします

Timer Off?

再設定する場合は、⇦ ⇨ で"Timer Edit"にします

TimerEdit?

6. 決定ボタンを押します

メモ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（21ページ）
◆ 停電したり電源コードを抜いた後に再度電源コードを接続すると、時計表示は点滅します。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. タイマー/時計 9 **タイマー / 時計ボタンを2回押します**

3. **⇦ ⇨ で "Sleep" を選んでから、決定ボタンを押します**

4. **⇧ ⇩ で終了するまでの時間を設定します**

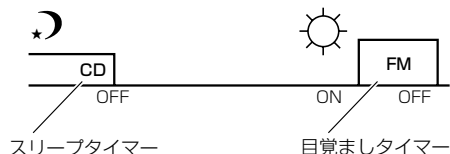
Auto* → 90分 → 60分 → 30分 → Off → Auto*

* **スリープオート(Auto)**
CD、SACD、MP3の再生中またはVIDEO CDでPBCをオフで再生中に選ぶことができます。
再生が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

5. 決定 **決定ボタンを押します**

スリープタイマーを設定すると、表示部の ☾ が点灯します。

注 意

◆ 目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
◆ スリープオートはリピートを設定していると選択することができません。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

画質を調整する

メモ

よく使うボタン

	ホームメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

画質を調整してより見やすくする

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. ホーム メニュー 3 **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます**

3. **[画質調整]を選んでから、決定ボタンを押します**

4. **[標準]、[メモリー 1]、または[メモリー2]を選んでから、決定ボタンを押します**

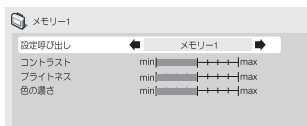
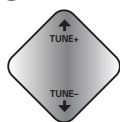
画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定が無効になります。

標準(お買い上げ時の設定)
ディスクに記録されているそのままの画質です。
メモリー 1/ メモリー 2
お好みで調整した画質設定を記憶させることができます。手順5に進んでください。

5. **メモリーの内容を変更したいときは、[詳細設定]を選んでから、決定ボタンを押します**

決定 TUNE–

前の設定のまま使用するときは、**[メモリー 1]**、または**[メモリー2]**を選んでから、決定ボタンを押します。

6. ⇧⇩ で項目を選びます

表示切換ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と1行表示が切り換わります。

設定呼び出し
[**メモリー 1**]、または[**メモリー2**]に設定されている画質を選択して呼び出します。
コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ブライトネス
画面の明るさを調整します。
色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

7. 各項目のレベルを ⇦ ⇨ で調整します

8. 手順6～7を繰り返して、すべての項目を調整してから、決定ボタンを押します

- すでに画質設定が記憶されているときは新しく設定した内容が上書きされます。
- 設定終了後は、必ず**決定ボタン**を押してください。設定した内容が記憶されません。

メ モ

▼ ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

デジタル音声出力の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

本機を外部機器と光デジタル接続するときに必要な設定です。ここでの設定は本システムのスピーカー出力に対しても有効になります。

メ モ

▼ DVD-Audio や SACD は光デジタル出力しません。

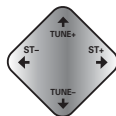
接続する外部機器がドルビーデジタルに対応していないとき

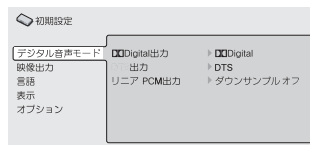
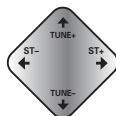
1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

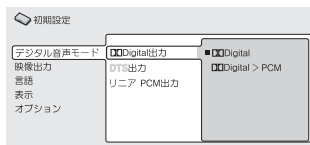
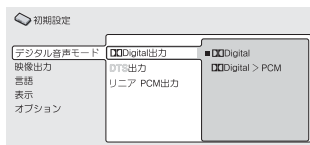
3. **[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します**

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. **[デジタル音声モード]を選んでから、カーソルを右へ移動します**

初期設定
デジタル音声モード / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション
DDDigital出力 / DTS出力 / リニア PCM出力
DDDigital / DTS / ダウンサンプル オフ

5. **[DDDigital 出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します**

初期設定
デジタル音声モード / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション
DDDigital出力 / DTS出力 / リニア PCM出力
■DDDigital / DDDigital > PCM

6. **項目を選んでから、決定ボタンを押します**

初期設定
デジタル音声モード / 映像出力 / 言語 / 表示 / オプション
DDDigital出力 / DTS出力 / リニア PCM出力
■DDDigital / DDDigital > PCM

DDDigital(お買い上げ時の設定)
ドルビーデジタル対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

DDDigital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続したときに選択します。

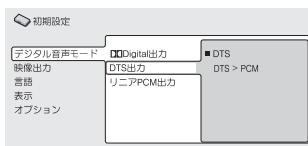
注 意

◆ DDDigital > PCM を選択すると、本システムのスピーカー出力もドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。

接続する外部機器が DTS に対応しているとき

はじめから操作する場合は、72ページの手順1から４の操作をしてください。

[DTS出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んでから、決定ボタンを押します

初期設定
デジタル音声モード
映像出力
言語
表示
オプション
Digital出力
DTS出力
リニアPCM出力
■ DTS
DTS > PCM

DTS(お買い上げ時の設定)

DTS 対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

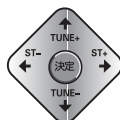
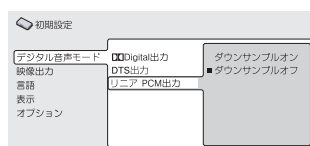
DTS > PCM

DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。DTS に対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

◆ DTS > PCM を選択すると、本システムのスピーカー出力も DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。
◆ DTS に対応していない外部機器に接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続している外部機器が 96kHz リニア PCM に対応しているとき

はじめから操作する場合は、72ページの手順1から４の操作をしてください。

[リニアPCM出力]を選んで、カーソルを右へ移動させてから、項目を選んでから、決定ボタンを押します

ダウンサンプルオン

96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。96kHz に対応していない機器と接続したときに選択します。

ダウンサンプルオフ(お買い上げ時の設定)

96kHz対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

注 意

◆ ダウンサンプルオンを選択すると、DVD-Video の 96kHz PCM 信号を再生したときは、本システムのスピーカー出力も48kHzに変換して出力します。

映像出力の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

	ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

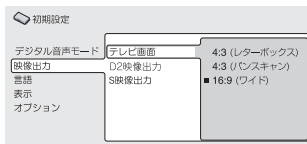
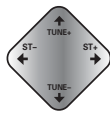
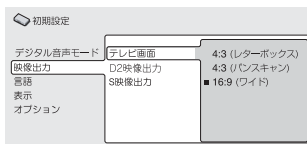
接続したテレビのサイズは、ワイドサイズ(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. ホーム メニュー 3 **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます**

3. **[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します**

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. **[映像出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します**

5. **[テレビ画面]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します**

4:3(レターボックス)

従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(次ページ)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)

従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(次ページ)で見たいときに選択します。**この設定はディスクが対応していないとできません。**

16:9(ワイド)(お買い上げ時の設定)

ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は・・・

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

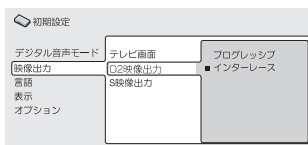
お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

メ モ

▼ 画面の比率(アスペクト比)の切リ換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

映像の出力方式をプログレッシブ出力に切り換えるとき

はじめから操作する場合は、74ページの手順1から４の操作をしてください。

[D2 映像出力]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

プログレッシブ

きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとＤ映像接続(100 ページ)しているときに設定します。

- [プログレッシブ]を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、戻るボタンを押してください。

インターレース(お買い上げ時の設定)

プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

メ モ

▼ [プログレッシブ]と[インターレース]を切り換えるとき映像が乱れることがあります。

▼ [プログレッシブ]と[インターレース]を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

注 意

◆ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子のみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続（100ページ）しているときは、**[プログレッシブ]** を選択しないでください。映像が何も出力されなくなります。選択してしまったときは、以下の方法で **[インターレース]** に切り換えてください。

1. 電源ボタンを押して、電源をオフにします

電源が入っているときは、電源ボタンを押します。

2. 本体の ■ ボタンを 8 秒間押し続けます

以下のように表示されます。

3. 本体の VOL ＋または－ボタンのどちらかを押します

以下のように表示されます。

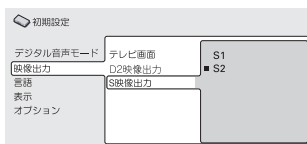
InterLace?

4. 本体の ►/II ボタンを押します

電源がオンになり、映像出力の方式が **[インターレース]** になります。

S 映像端子から出力される映像信号を S1 に切りかえるとき

はじめから操作する場合は、74ページの手順1から４の操作をしてください。

[S 映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

S1

S1映像信号が出力されます。（115ページ）

S2(お買い上げ時の設定)

S2映像信号が出力されます。（115ページ）

注 意

◆ 本機とテレビをＳ映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

言語の設定を変更する

メモ

よく使うボタン

ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(設定は保存されません)。

項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

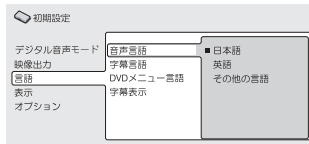
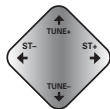
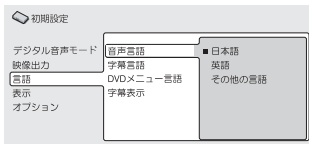
音声言語を変更する

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

3. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. [言語]を選択して、カーソルを右へ移動します

5. [音声言語]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他の言語

136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは79ページの『*字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

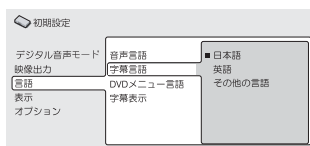
メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。

▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVD メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

字幕言語を変更する

はじめから操作する場合は、77ページの手順1から４の操作をしてください。

[字幕言語]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)
日本語の字幕を表示します。

英語
英語の字幕を表示します。

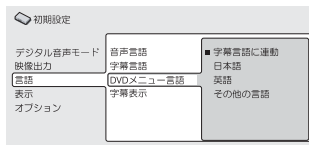
その他の言語
136 言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは79ページの『*字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

メ モ

- ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

DVD のメニューに表示する言語を変更する(DVD メニュー言語)

はじめから操作する場合は、77ページの手順1から４の操作をしてください。

[DVD メニュー言語]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語
日本語でメニュー画面が表示されます。

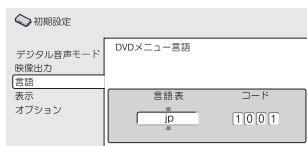
英語
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語
136 言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは79ページの『*字幕言語/音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

字幕言語 / 音声言語 /DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

125ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選んでから、決定ボタンを押します

例）DVD メニュー言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(125 ページ)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例えばフランス語を選ぶ場合は、⇧を２回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

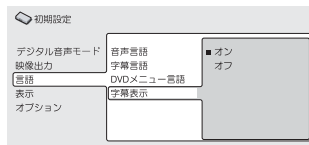
下記のいずれかの操作をします。

例えばフランス語を選ぶ場合は、

- **数字ボタン**の０、６、１、８を押します。
- １ケタごとに⇧ ⇩で数字を選択します(⇦ ⇨ でケタを移動します。)

字幕を表示しないようにするには(字幕表示)

はじめから操作する場合は、77ページの手順1から４の操作をしてください。

[字幕表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)
字幕を表示します。

オフ
字幕を表示しません。ただし、DVD-Video の中には強制的に字幕を表示するものがあります。

応用編

設定をする

表示の設定を変更したいとき

メモ

よく使うボタン

	ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする（設定は保存されません）。
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

画面に表示される言語を英語にする（画面表示言語）

1. メイン ┓ ┏ サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ホーム メニュー 3

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

3.

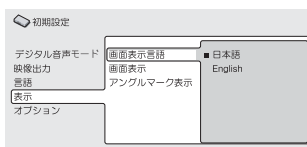
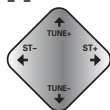
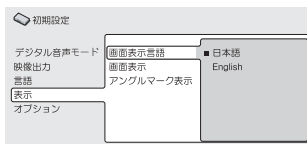
[初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4.

[表示]を選択して、カーソルを右へ移動します

5.

TUNE+ ST− 決定 ST+ TUNE−

[画面表示言語]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

日本語(お買い上げ時の設定)

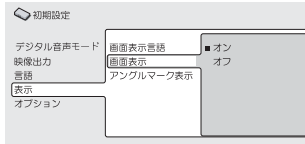
画面に表示される言語が日本語になります。

English

画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする（画面表示）

はじめから操作する場合は、80ページの手順1から４の操作をしてください。

[画面表示]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

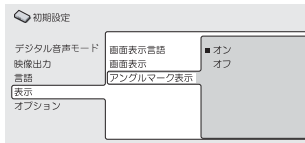
画面に操作表示をします。

オフ

画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにする(アングルマーク表示)

はじめから操作する場合は、80ページの手順1から４の操作をしてください。

[アングルマーク表示]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

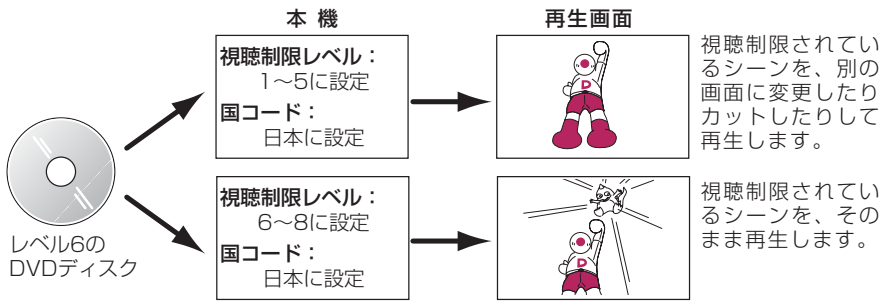
画面に マークを表示します。

オフ

画面に マークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限を設定する

暴力シーンなどを含む DVD-Video の中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル７のディスクを再生することはできません。レベル７のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

＊国コードについて

国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

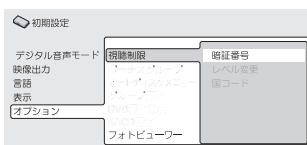
一般的な視聴制限レベルの設定（各レベルと再生できる内容について）

<table>
<tr><th>レベル</th><th colspan="2">再生内容</th></tr>
<tr><td>レベル1に設定すると</td><td>子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。</td><td rowspan="2">レベル１のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容。</td></tr>
<tr><td>レベル2～3に設定すると</td><td>一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R指定）ディスクは再生できません。</td></tr>
<tr><td>レベル4～7に設定すると</td><td>一般向けディスク（R指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。</td><td>レベル４～７のディスクは中学生以下が見ることができない内容。</td></tr>
<tr><td>レベル8に設定すると</td><td>すべてのディスクを制限無しで再生することができます。</td><td rowspan="2">レベル８のディスクは成人しか見ることのできない内容。</td></tr>
<tr><td>「オフ」に設定すると</td><td>視聴制限レベルを「切」にします。</td></tr>
</table>

暗証番号を登録するには･･･

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため､暗証番号を設定します。暗証番号は次のようなときに必要となります。

・ 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき
・ ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき（視聴制限レベル一時変更）

1. **[オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

3. **数字(0～9)ボタンで４桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

初期設定を終了するには､メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後､**ホームメニューボタン**を押します。

メ モ

▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
▼ 暗証番号を忘れてしまったときは､お買い上げ時の設定に戻して、再度設定してください。（127ページ）
▼ ディスクによっては､視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

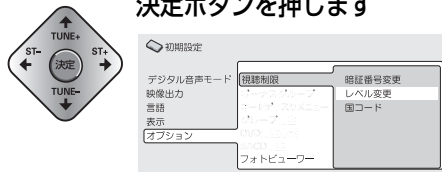
視聴制限できるDVDを再生するには･･･

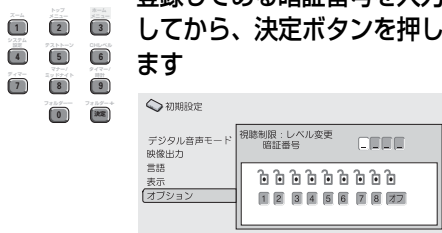
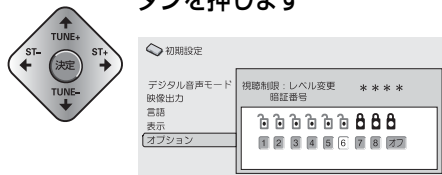
視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

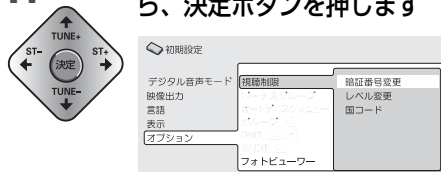
2. **数字(0～9)ボタンで４桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**

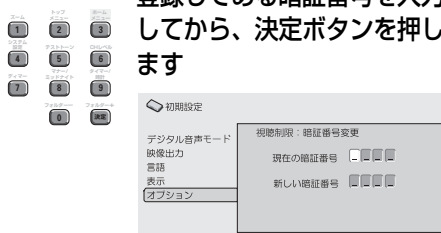
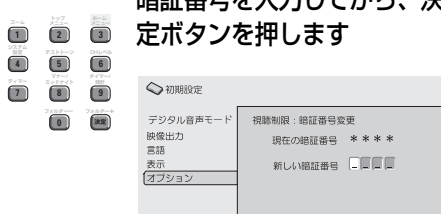
本機のレベルを変更するには・・・

1. [レベル変更]を選んでから、決定ボタンを押します

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

3. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

4. レベルを選んでから、決定ボタンを押します

初期設定を終了するには、メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**ホームメニューボタン**を押します。

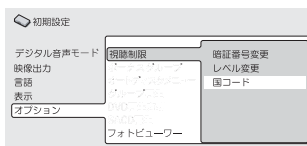
暗証番号を変更するには・・・

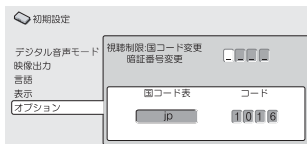
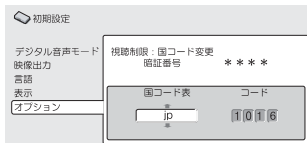
1. [暗証番号変更]を選んでから、決定ボタンを押します

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

3. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

4. 数字(0～9)ボタンで新しい暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

初期設定を終了するには、メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**ホームメニューボタン**を押します。

国コードを変更するには･･･

125 ページの国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選んでから、決定ボタンを押します

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

3. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

4. 数字(0～9)ボタンで[コード]、または ⇧⇩ で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

[国コード表]で変更するとき

例えば日本を選ぶ場合は、⇧⇩ で[jp]を選択します。

[コード]で変更するとき

下記のいずれかの操作をします。

例えば日本を選ぶ場合は、

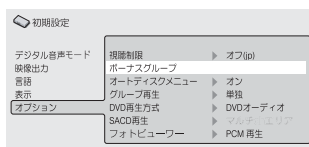
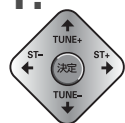
- **数字ボタン**の 1、0、1、6 を押します。（125 ページの国コード表参照）
- 1ケタごとに ⇧ ⇩ で数字を選択します(⇦ ⇨ でケタを移動します。)

5. 本体の ▲OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクを取り出します

国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DVD オーディオのボーナスグループを再生する(ボーナスグループ)

DVD-Audio には、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、４桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。

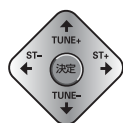
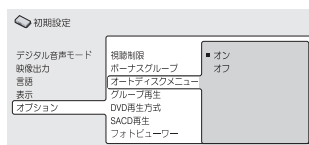
1. **[ボーナスグループ]を選択してから、決定ボタンを押します**

2. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

3. **数字(0～9)ボタンでキーナンバーを入力してから、決定ボタンを押します**

初期設定を終了するには、メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えた後、**DVD 設定ボタン**を押します。

メ モ

▼ ディスクを取り出す、または電源を切ると、入力されたキーナンバーの記憶が消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにする(オートディスクメニュー)

[オートディスクメニュー]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

ディスクをセットするとメニュー画面が自動的に表示されます。

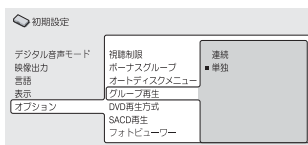
オフ

ディスクをセットしてもメニュー画面が表示されません。

応用編

設定をする

DVD オーディオのすべてのグループを続けて再生する(グループ再生)

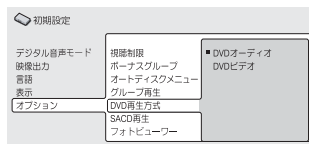
[グループ再生]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

連続
すべてのグループを続けて再生します。

単独 (お買い上げ時の設定)
選択したグループのみ再生します。

メ モ

▼ ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
▼ **[単独]** を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1つのグループのみを再生することがあります。
▼ **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、◀◀ ▶▶ ボタン、または|◀◀ ▶▶|ボタンを使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください(46 ページ)。
▼ **[連続]** を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

DVD オーディオを DVD ビデオとして再生する(DVD 再生方式)

[DVD再生方式]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

DVD オーディオ(お買い上げ時の設定)
本機をDVDオーディオプレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

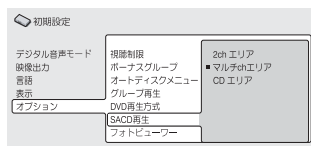
DVD ビデオ
本機をDVDビデオ専用プレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

メ モ

▼ **[DVD ビデオ]**を選択していても、以下の操作を行うと**[DVD オーディオ]**に戻ります。
・本体の ▲ OPEN/CLOSE ボタンを押す。
・DVD 以外の入力にする。
・電源を切る。

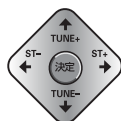
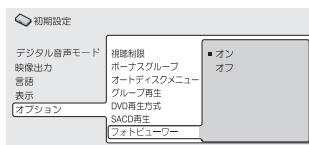
SACDの2チャンネルエリアまたはCDエリアを再生する(SACD再生)

[SACD]は、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。ここでは[SACD]の再生するエリアを切り換えます。

[SACD再生]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

2ch エリア
2チャンネルエリアを再生します。

マルチ ch エリア (お買い上げ時の設定)
マルチチャンネルエリアを再生します。

CD エリア
CD層を再生します。

JPEG以外のファイル/ディスクを再生する（フォトビューワー）

[オプション]➡[フォトビューワー]を選んでカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します

オン(お買い上げ時の設定)

JPEG、フジカラーCD、およびコダックピクチャーCDを再生するときに選択します。

オフ

JPEG以外のディスクを再生するときに選択します。JPEGとMP3のファイルが混在しているディスクのMP3を再生するときはこちらを選択します。

メ モ

▼ [フォトビューワー]の設定を変更したときは、一度ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

スピーカーの出力レベルを調整する

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。出力レベルは各サラウンド/アドバンスドモードごとに独立して設定することができます。ここで調整を行った後にルーム設定（7ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値ですべてのサラウンド/アドバンスドモードのチャンネルレベルを更新します。

テストトーンで調整するには

1. **メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

2. **サラウンドまたはアドバンスドボタンを押して調整したいモードを選択します**

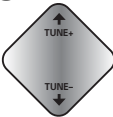
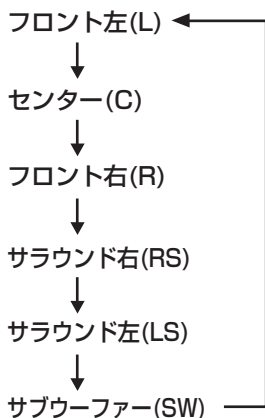
ダイアログサラウンド

または

サラウンドまたはアドバンスドモードごとに設定することができます。

3. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

4. **テストトーンボタンを押します**

以下の順番で、各チャンネルのテストトーン（ザーという音）が、自動的に切り換わって出力されます。

手順２でステレオモードまたはバーチャルモードを選んだときは、センターおよびサラウンドスピーカーからはテストトーンが出力されません。

サブウーファーのテストトーンは、周波数が低いので実際のレベルより小さく聞こえます。

5. **お好みの音量に調整します**

6. **⇧⇩で、テストトーンが出力されているチャンネルの出力レベルを調整します**

各スピーカーからの音が同じ大きさに聞こえるように調整してください。チャンネルレベルは±10dBの範囲で調整できます。

7. **すべてのチャンネルの調整が終了したら、テストトーンボタンを押します**

テストトーンが止まり、出力レベル調整を終了します。

メ モ

- ▼ サブウーファーの調整は音楽や映画ソースなどを実際に使って適切な値に調整してください。
- ▼ 以下の場合はテストトーンが出ません。
  - ・消音ボタンを押して Muting にしているとき。
  - ・ヘッドホンを挿入しているとき。
- ▼ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

再生しているディスクで調整するには

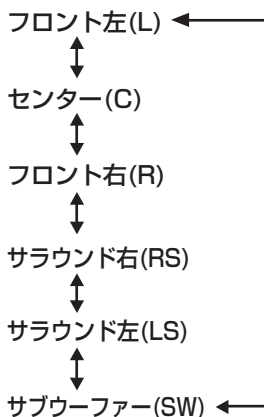
1. お好みのディスクを再生します

2. メイン　サブ　メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. CHレベル 6　CH レベルボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で、出力レベルを調整するチャンネルを選びます

ST– ST+

ステレオモードまたはバーチャルモードを選んでいるときはフロント左 / 右（L/R）サブウーファー（SW）のみ調整することができます。

5. ⇧ ⇩ で、各チャンネルの出力レベルを調整します

TUNE+ TUNE–

チャンネルレベルは、±10dBの範囲で調整できます。

6. 手順４から５を繰り返して各スピーカーのレベルを調整します

7. 決定ボタンを押します

決定

メ モ

- ▼ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。
- ▼ 以下の場合はフロントスピーカー L/R とサブウーファーのみの調整となります。
  - ・オートボタンでオートを選択して、2チャンネルの音声を再生しているとき
  - ・サラウンドボタンでステレオを選択しているとき
  - ・アドバンスドボタンでバーチャルサラウンドを選択しているとき
- ▼ ヘッドホンを挿入しているときは出力レベルを調整することができません。

サラウンドに関する設定

フロントスピーカーまでの距離の設定 （94ページ）

視聴位置からフロントスピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（7ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

センタースピーカーまでの距離の設定 （95ページ）

視聴位置からセンタースピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（7ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

サラウンドスピーカーまでの距離の設定 （95ページ）

視聴位置からサラウンドスピーカーまでの距離を設定します。
それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差により生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、視聴位置で適切な音場効果を得ることができます。

・ この設定後に「ルーム設定」（7ページ）を行うと、ここでの設定よりも選択したルームタイプの設定値が優先されます。

ダイナミックレンジコントロールの設定 （96ページ）

ダイナミックレンジとは再生能力を表す用語で、どのくらい小さな音からどのくらい大きな音までをきちんと（小さな音はノイズに埋もれずに、大きな音は歪まずに）再生できるかを数値（dB）で表わしたものです。ダイナミックレンジコントロールとは、このダイナッミックレンジを圧縮する機能です。音量を下げて映画を楽しむときなどは、ダイナミックレンジを圧縮すると微小な音も聞きやすくなり、映画をより一層楽しむことができます。

DRC Off ：ダイナミックレンジを圧縮せずにソフトに収録されたまま再生します。
（お買い上げ時の設定）
DRC Mid ：ダイナミックレンジを少し圧縮します。
DRC High ：ダイナミックレンジを最も圧縮します。

・ この機能の効果が得られるのは、ダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルまたはDTSソフトだけですが、他のソフトを小音量で楽しむときにはミッドナイトモード（66ページ）が効果的です。

デュアルモノの設定 （96 ページ）

1+1 デュアルモノラル信号とは、モノラルの音声チャンネルを2つもつデジタル信号のことで、ここではデュアルモノラル信号が入力されたときにどちらの音声をどのスピーカーから出力するかを設定します。この設定は例えば以下のような 1+1 デュアルモノラルフォーマットのソースにのみ有効です。

- BS デジタル放送のモノラルの二か国語放送や音声多重放送など
  ステレオの二か国語放送などはデュアルモノラルとは異なるフォーマットになります。
- 2 か国語放送などを DVD レコーダーの VR モードで録画したもの
  ただし、録画モードによってはデュアルモノと異なるフォーマットになります。（詳しくはDVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

Ch1 Mono　：チャンネル 1 の音声のみをセンタースピーカーから出力する場合。（スピーカーの設定やリスニングモードの選択によっては左右の（フロント）スピーカーからチャンネル 1 の音声が出力されます）

Ch2 Mono　：チャンネル 2 の音声のみをセンタースピーカーから出力する場合。（スピーカーの設定やリスニングモードの選択によっては左右の（フロント）スピーカーからチャンネル 2 の音声が出力されます）

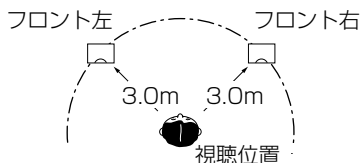
L-Ch1 R-Ch2　：チャンネル 1 の音声を左の（フロント）スピーカーから、チャンネル 2 の音声を右の（フロント）スピーカーから出力する場合。（お買い上げ時の設定）

LFE アッテネータの設定 （97 ページ）

ドルビーデジタル信号や DTS 信号に含まれる LFE 成分（超低域信号成分）の信号レベルが大きすぎて、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまう場合に、その信号レベルをアッテネート（減衰）する量を設定することができます。

LFE ATT 0　：収録されているレベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）
LFE ATT 10　：レベルを 10dB アッテネート（減衰）します。
LFE Off　：LFE 成分の音が出なくなります。

フロントスピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（7ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定 4　**システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、フロントスピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

ST− ST+

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Front　3.0m

4. **⇧ ⇩ で、フロントスピーカーまでの距離を設定します**

TUNE+ TUNE−

0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

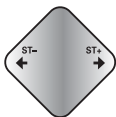
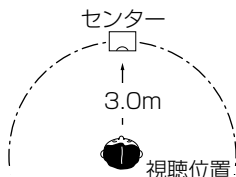
5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ フロントスピーカーまでの距離を設定すると、自動的にサブウーファーまでの距離もフロントスピーカーと同じ距離に設定されますので、サブウーファーとフロントスピーカーは視聴位置からほぼ同じ距離になるように設置してください（サブウーファーまでの距離の設定はありません）。

各項目についての詳しい説明は 92 ～ 93 ページをご覧ください。

センタースピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（7ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定　4　**システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、センタースピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

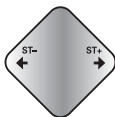
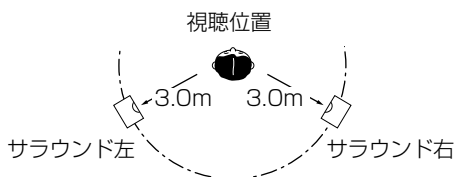
Center　3.0m

4. **⇧ ⇩ で、センタースピーカーまでの距離を設定します**

0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

サラウンドスピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行った後にルーム設定（7ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン　サブ　**メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定　4　**システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、サラウンドスピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

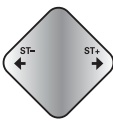
押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

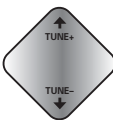
Surr.　3.0m

4. **⇧ ⇩ で、サラウンドスピーカーまでの距離を設定します**

0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

ダイナミックレンジコントロールの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. システム設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で、ダイナミックレンジコントロールの設定モードを選びます

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

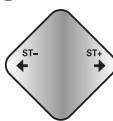
DRC　　Off

4. ⇧ ⇩ で、Off、Mid または High を選びます

以下のように切り換わります。

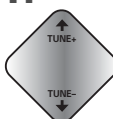
5. 続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ 小さい音量で楽しむ場合は、High に設定することをおすすめします。

▼ この設定はダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルまたはDTSソフトにのみ効果があります。

デュアルモノの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. システム設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で、デュアルモノの設定モードを選びます

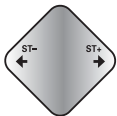
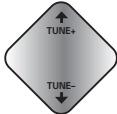
押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

L–Ch1　R–Ch2

4. ⇧ ⇩ で、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します

以下のように切り換わります。

5. 続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

LFE アッテネータの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. システム設定 4
システム設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で、LFE アッテネータの設定モードを選びます

ST– ST+

押すごとに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

LFE ATT 0

4. ⇧ ⇩ で、アッテネート(減衰)量 を選びます

TUNE+ TUNE–

以下のように切り換わります。

5. 続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ すべてのアッテネート(減衰)量で試し、最適な状態に設定することをおすすめします。
▼ ドルビーデジタルや DTS のように、再生するソフトにサブウーファーの専用チャンネルがある場合にのみ効果があります。

チャイルドロック機能を使う

この機能をオンにすると、本体の操作ボタンがすべて使用できなくなります。
小さなお子さまのいる家庭でのいたずら防止に便利な機能です。
お買い上げ時は、チャイルドロック機能はオフに設定されています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

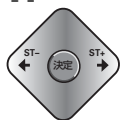
2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

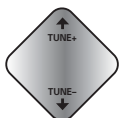
3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "Child Lock" を選んでから、決定ボタンを押します

ChildLock?

5.

⇧ ⇩ で、チャイルドロック機能のオン / オフを選びます

チャイルドロック機能のオンのとき

Lock On?

チャイルドロック機能のオフのとき

Lock Off?

6. 決定

決定ボタンを押します

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切り換えることができます。
お買い上げ時は、12時間表示になっています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

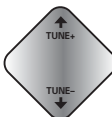
システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "12/24 Hour" を選んでから、決定ボタンを押します

12/24 Hour?

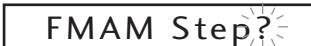
5.

⇧ ⇩ でお好きな表示を選択します

24 時間表示

24–Hour?

12 時間表示

12–Hour?

6. 決定

決定ボタンを押します

周波数ステップを切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定します。（本機お買い上げ時の設定）。本機ではこの周波数ステップを、FM 放送は 100kHz ステップ、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で "FM AM Step" を選んでから、決定ボタンを押します

FMAM Step?

5. TUNE+ TUNE−

⇧ ⇩ で "FM 50 AM 9" または "FM100 AM10" を選択します

AM放送を9kHzステップにしたとき

FM 50AM 9?

AM 放送を 10kHz ステップにしたとき

FM100AM10?

6. 決定

決定ボタンを押します

Q&A

Q: AM 放送が受信できない

→ 国内で使用する場合は、ステップ周波数を 9kHz に設定してください。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを暗くすることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、明るい設定にされています。

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ディマー 7

ディマーボタンを押します

押すごとに、表示の明るさが3段階で切り換わります。

明るい設定

Dimmer 3

中間の明るさの設定

Dimmer 2

暗い設定

Dimmer 1

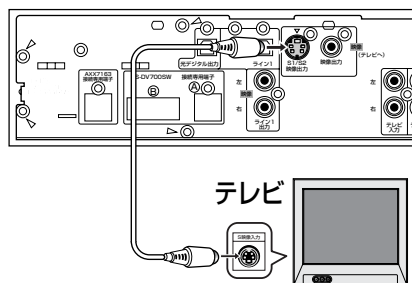
外部機器の接続のしかた

より鮮明な映像でテレビを見るには

別冊の「システムセットアップガイド」では、付属の映像ケーブルを使用した接続方法でしたが、以下の接続を行うと、より鮮明な画像でDVDを楽しむことができます。

S 映像入力端子付きテレビの場合

S 映像入力端子を持っているテレビと、本機の**S1/S2 映像出力**とを市販の S 映像ケーブルで接続すると、映像入力端子につなぐより鮮明な映像になります。
映像が横方向に引き伸ばしたように見える場合は、76ページを参照して、S1 に設定してください。

テレビ

S ビデオケーブル（市販）

メ モ

▼ 映像出力端子またはS1/S2映像出力端子に接続しているときは、映像の出力方式を **[インターレース]** に設定してください。**[プログレッシブ]**に設定してしまうと映像が何も出なくなります。その場合は **[インターレース]** に切り換えてください（76 ページ）。

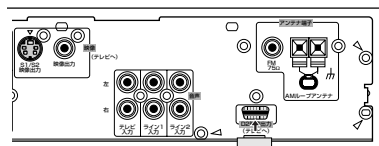
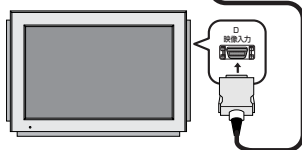
D 端子対応のテレビの場合

市販のD映像ケーブルで接続します。本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。本機の **D2 映像出力端子**は、接続するテレビのD1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。

D 映像ケーブル（市販）

テレビ

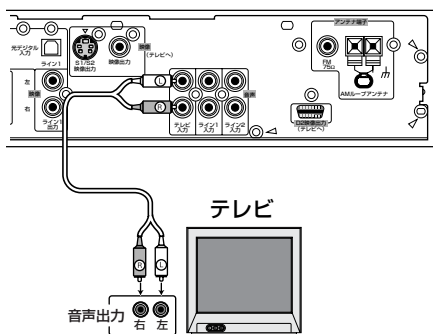
応用編

外部機器

テレビの音声を本機で聞いたりするには

本機に接続したテレビの音声を、本機のスピーカーで楽しむことができます。

接続のしかた

本機の**音声 / テレビ入力端子**と、接続したテレビの出力端子とを、市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

- 詳しくは、接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには

TV ボタンを押します

TV

メ モ

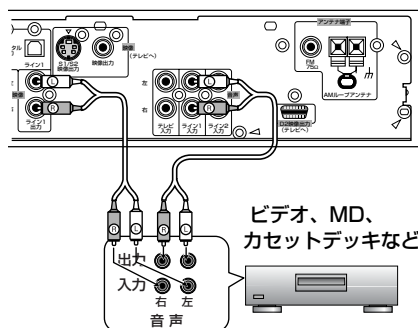
▼ サラウンド再生の設定が Auto（お買い上げ時の設定）のときは、ステレオ再生となります。マルチチャンネル（5.1ch）再生にしたいときは、**サラウンドボタン**または**アドバンスドボタン**を押して、お好きなモードにしてください。（59 ～ 61 ページ）

ビデオやカセットデッキなどを接続して本機で聞いたりするには

ビデオ、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。これにより、接続した機器で本機の音声を録音したり、接続した機器を本機のスピーカーから聞いたりすることができます。

接続のしかた

本機の**音声／ライン１**または**音声／ライン２入力端子**と接続機器の出力端子、本機の**音声／ライン１出力端子**と接続機器の入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには（アナログ入力にする）

LINE ボタンを押して、LINE1 ANA または LINE2 にします

L1/L2
LINE

押すごとに、LINE1 ANA、LINE1 DIG、LINE2 の入力が切りかわります。

→LINE1 ANA→LINE1 DIG→LINE2

メ モ

▼ サラウンド再生の設定がAuto（お買い上げ時の設定）のときは、ステレオ再生となります。マルチチャンネル（5.1ch）再生にしたいときは、**サラウンドボタン**または**アドバンスドボタン**を押して、お好きなモードにしてください。（59 ～ 61 ページ）

応用編

外部機器

外部機器音声の歪みを減らす

本機の音声入力端子**「音声／ライン1入力」**、**「音声／ライン2入力」**または**「音声／テレビ入力」**にアナログ接続した外部機器の音声を本機で再生していると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにセットすると改善されることがあります。
アッテネーターの設定は、**「音声／テレビ入力」**、**「音声／ライン１入力」**または**「音声／ライン２入力」**の各端子ごとに設定することができます。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨で設定したい入力を選んで、決定ボタンを押します

音声／テレビ入力を選んだとき

TV ATT?

音声／ライン１入力を選びます。

LINE1 ATT?

音声／ライン２入力を選びます。

LINE2 ATT?

5. TUNE+ 決定 TUNE−

⇧⇩で最適な減衰値を選んでから、決定ボタンを押します

ATT 6dB

ATT 10dB

ATT 10dB?

ATT なし

ATT Off?

カセットデッキなどのアナログ機器で本機の音声を録音するには

本機の音声／ライン１出力端子から出力される音声を録音する場合は下記の手順に従って録音モードをオンに設定してください。
オフに設定されていると、本機を操作したときに音声／ライン１出力音声が途切れてしまい、途切れたまま録音されることがあります。
録音モードがオンのときは以下のボタン操作を禁止します。

- オート、サラウンド、アドバンスド
- ダイアログ、バーチャル SB
- バスモード、マナー／ミッドナイト
- テストトーン、ルーム設定
- システム設定

1. サウンド

サウンドボタンを押します

2. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨で"Rec Mode"を選んでから、決定ボタンを押します

Rec Mode?

3. TUNE+ TUNE−

⇧⇩で"R.Mode On"または"R.Mode Off"にします

ON にするとき

R.Mode On?

OFF にするとき

R.Mode Off?

4. 決定

決定ボタンを押します

応用編 外部機器

メ モ

▼ 録音モードがオンに設定されているとき、DVD-Audio または SACD のマルチチャンネル音声はステレオ音声にダウンミックスされてスピーカーおよび**音声／ライン 1 出力端子**から出力されます。ただし、録音モードをオンに設定しても DVD-Audio のディスクによっては**音声／ライン 1 出力端子**からフロントL/R 成分のみしか出力されないことがあります。

▼ 録音モードがオフに設定されているとき、DVD-Audio または SACD のスピーカー出力はマルチチャンネルで出力されます。ただし、**音声／ライン1出力端子**からはフロントL/R の音声が出力されます。

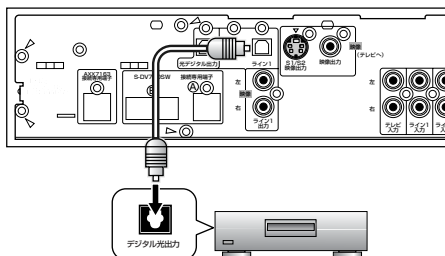
▼ 録音モードがオンに設定されているときは SACD のサブウーファーの出力はなくなり、低音が聞こえなくなります。

BS チューナーやゲーム機などの音声を本機で聞くには

BS チューナー、CS チューナー、ゲーム機などの機器を本機にデジタルで接続し、本機で聞くことができます。これにより、5.1ch 対応のゲームなどを、立体音場で楽しむことができます。

接続のしかた

市販の光ケーブルで、本機の**ライン 1 ／光デジタル入力端子**と接続する機器のデジタル光出力端子とを接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

BSチューナー、ゲーム機など

本機で聞くには（デジタル入力にする）

L1/L2
LINE

LINE ボタンを押して、LINE1 DIG にします

押すごとに、LINE1 ANA、LINE1 DIG とLINE2 の入力が切り換わります。

応用編

外部機器

MD や CD-R などのデジタル機器で本機の音声を録音するには

MDやCD-Rなどの機器にデジタルで接続し、本機の音声をデジタル録音することができます。

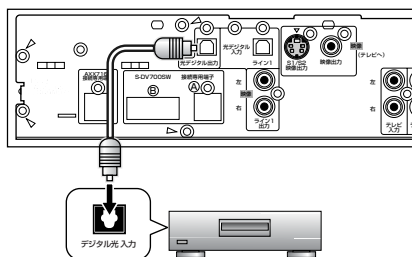
接続のしかた

別売の光ケーブルで、本機の**光デジタル出力端子**と接続する機器のデジタル光入力端子とを接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

MD、CD-R など

メ モ

▼ チューナーの音声、テレビの入力、**音声／ライン 1 入力端子**または**音声／ライン 2 入力端子**から入力した音声を光デジタル出力端子から出力することはできません。
DVD-Audio 、 SACD の音声を出力することはできません。

Q&A

Q1: 外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

→ デジタル録音されたCD-Rを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。

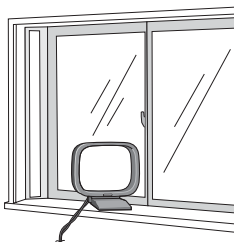
→ ラジオ放送は、デジタル録音ができません。

→ DVD など、デジタル録音が禁止されているソフトを録音することはできません。

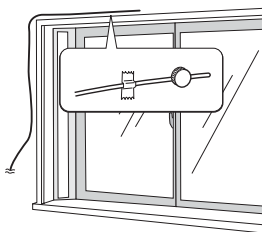
アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

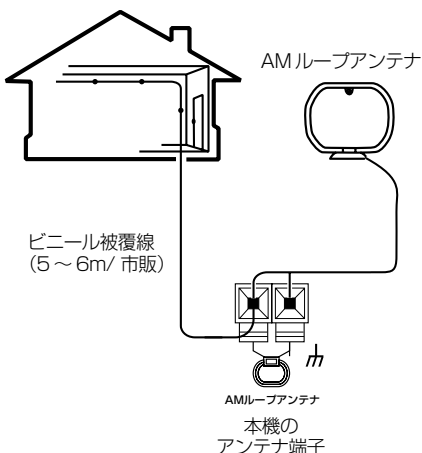
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

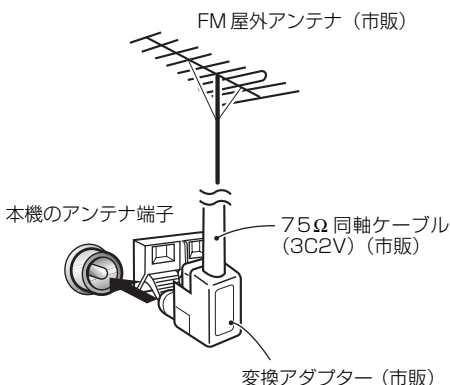
FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画鋲やテープで貼付けます。

- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

ディスクの基礎知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽CD企画に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

*1DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

*2DVD-RW ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVDビデオフォーマットのDVD-RWディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびVRモードでの記録については114、115ページも合わせてご覧ください。
VRモードにて記録できるディスクはDVD-RWだけです。また、VRモードにて記録されたDVD-RWを本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

*3CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、MP3の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクよっては、「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（113 ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499 フォルダー、999 トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が 8M ピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.1 *4 (114ページ)に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、499 フォルダー、999 ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.1、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

注 意

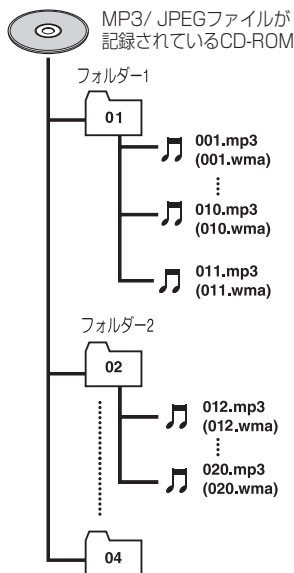
◆ レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
◆ 本機はファイナライズしていない音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW ディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽 CD フォーマット以外のファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。
◆ 詳しい CD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

タイトルとチャプターについて

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。

DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

MP3/JPEGについて

MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

DVDオーディオのグループとトラックについて

- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオCD/SACD/CDのトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

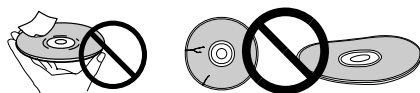
DVD/CDディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

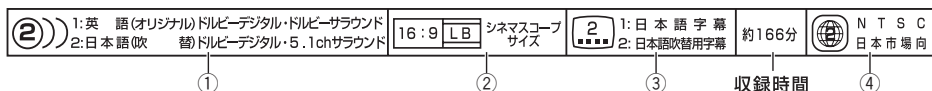
本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVDビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVDビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、9、12、77ページをご覧ください)。
上記の場合、英語音声はドルビーサラウンド（ドルビープロロジックサラウンド）で、日本語音声は5.1chのドルビーデジタルサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(7、74ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは9、12、13、78ページをご覧ください)。
DVDビデオでは最大32種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が2番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(37ページ)。

メ モ

▼ DVDビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の3つが現在主流となっています。

*ドルビー*デジタルとは..* DOLBY DIGITAL

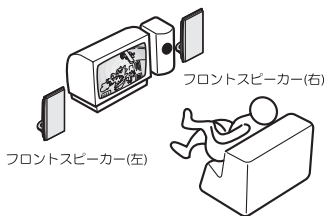
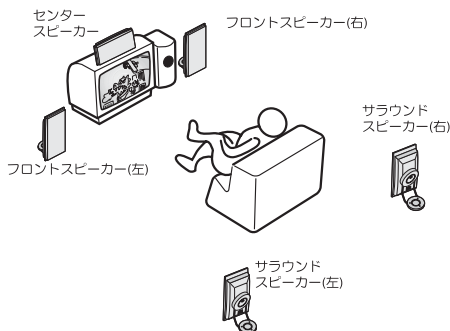
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1chサラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

DTS** とは. .

DTSとはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

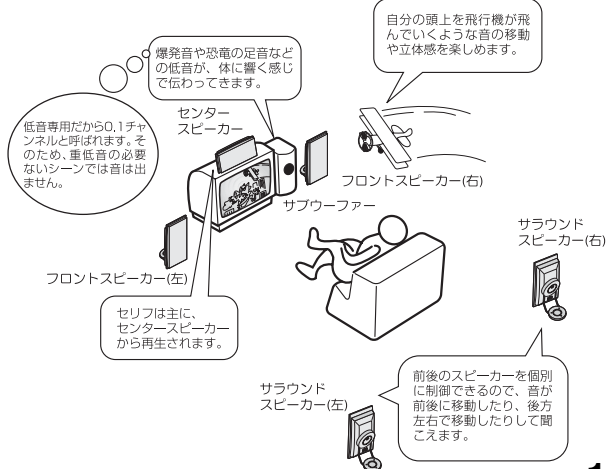
リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートライブなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは. .**
  左右２つのスピーカーとサブウーファーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、５本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

- **ドルビープロロジックサラウンド再生とは. .**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、５本のスピーカーとサブウーファーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。（ドルビープロロジックII の場合は、ステレオで再生されます。）

- **ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生とは. .**
  ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、５本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic、ダブルD記号及びAACロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

** "DTS" および "DTS Digital Surround" は米国Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

アッテネーター
「減衰器」とも呼ばれ、外部機器から入力した信号を正確に減衰させるための回路です。出力音声が歪んでいる場合、改善することができます。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

拡張子
拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号への変換（AD変換）を１秒間に何回行うかを表す数値。単位は「Hz」。音声ファイルについて用いられることが多い。ある音を正確に記録し、再現するには、その音の周波数の倍程度の周波数でサンプリングする必要があるといわれています。CDで採用されているサンプリング周波数は44.1kHzであるが、高周波音の再現が困難であるため、DVD-AudioやSACDなどの次世代規格では軒並みサンプリング周波数の向上が行われています。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

デコード
ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AACなどの圧縮されたデジタル信号を解凍して再生することです。

ドルビープロロジックサラウンド再生
2chサラウンド信号や2chステレオ信号をドルビープロロジック回路を通し、マルチチャンネルサラウンドで再生することです。2chサラウンド信号については圧縮された信号を忠実にデコード（再生）し、2chステレオ信号については２チャンネル分の信号からセンター、サラウンドチャンネルの信号をつくりだします。ただし、この再生方式ではサラウンドチャンネルはモノラルであるため、左右のサラウンドスピーカーからは同じ音声が出力されます。

ドルビープロロジックⅡサラウンド再生
ドルビープロロジックⅡは、ドルビープロロジックを更に改良し、ステレオ音声を5.1chに拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン5chを作り出します。CDのような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。

■プロロジックとプロロジックIIの違い

	プロロジック	プロロジックII
効果的なソース	ドルビーサラウンドエンコード処理されたステレオ音声	すべてのステレオ音声
デコードチャンネル数	4.1ch (サラウンドモノラル)	5.1ch (サラウンドステレオ)
周波数特性	サラウンド7kHz帯域制限	全チャンネルフルバンド

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記します。

ヘッドホンサラウンド再生
マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感をヘッドホンでお楽しみ頂けます。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、4桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られるため、視聴者側で視点(カメラ)を選択すれば、見たい視点で映像が見られます。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDビデオの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

マルチチャンネルサラウンド再生
3本以上のスピーカーでサラウンド再生することです。音声信号が3チャンネル以上の録音方式で記録されているソフトについてはソフトに忠実に再生します。なかでも5.1chサラウンド信号の再生については、左右のサラウンドスピーカーからもそれぞれ異なる音声が出力されるので、ドルビープロロジックサラウンド再生に比べ、より立体感のある音場で迫力のある臨場感がお楽しみいただけます。

リージョンNo.

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DVDオーディオ/ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVDビデオフォーマット記録

DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

Exif

Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルーカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

F-Disc（エフディスク）

8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
　コンシューマーフォト部
　電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

ISO9660

ISOによって標準化され1988年に発刊された、CD-ROMの理論フォーマット規格。
ISO/IEC9660は、このHFSをベースに標準化された規格で、ディスクに記録できる各種情報や記録方法、ボリュームやディレクトリ構造などが規定されています。

JPEG

JPEGとは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

MPEG-2 AAC(Advanced Audio Coding)

MPEG-2オーディオの標準方式の一つで、BSデジタル放送で採用されている音声符号化規格です。低ビットレートでかつ高音質を確保できる点が特長で、番組内容によりマルチチャンネル設定が可能なフォーマットです。以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5,481,614
5848391	5,592,584
5,291,557	5,781,888
5,451,954	08/039,478
5 400 433	08/211,547
5,222,189	5,703,999
5,357,594	08/557,046
5 752 225	08/894,844
5,394,473	5,299,238
5,583,962	5,299,239
5,274,740	5,299,240
5,633,981	5,197,087
5 297 236	5,490,170
4,914,701	5,264,846
5,235,671	5,268,685
07/640,550	5,375,189
5,579,430	5,581,654
08/678,666	05-183,988
98/03037	5,548,574
97/02875	08/506,729
97/02874	08/576,495
98/03036	5,717,821
5,227,788	08/392,756
5,285,498	

PACKED PCM
DVD オーディオが必須採用するロスレス（損失のない）音声圧縮技術。英国メリディアンが開発したものでP.PCMと表示するプレーヤーもあります。

PCM
Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない２チャンネルステレオデジタル音声です。CD のデジタル音声はほとんどこの方式です。DVD の音声記録方式の１つでもありますが、CD のサンプリング周波数が 44.1kHz であるのに対し、ＤＶＤ のサンプリング周波数は 48kHz や 96kHz と高いので、DVD の方がより高音質の音声を楽しめます。

S1 映像出力
S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)との識別信号の入ったＳ映像信号です。

S2 映像出力
S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったＳ映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

SACD
CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには１層ディスク、２層ディスクとハイブリッドディスクの３種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）記録
映像、および音声信号をDVD-RW レコーダーでDVD-RW ディスクの不特定な位置に即時書き込み * することをいいます。(* 即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVD レコーダーではこれをVR モード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

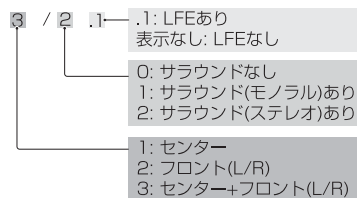
例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1*2 ＝ 0.1CH]

***1**: 重低音強調効果の意
***2**: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。

応用編

その他

こんな表示が出たとき

ディスプレイユニット部 **RecMode On**

102ページで録音モードがオンに設定されているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。録音モードをオフにしてから操作してください。

- オート
- アドバンスド
- バーチャル SB
- マナー/ミッドナイト
- ルーム設定
- サラウンド
- ダイアログ
- バスモード
- テストトーン
- システム設定

ディスプレイユニット部 **Child Lock**

98ページのチャイルドロック機能がセットされているときに、本機の操作ボタンを使用すると、表示されます。チャイルドロック機能がセットされているときは、本体の操作ボタンは使用することはできません。解除してから操作してください。

ディスプレイユニット部 **Phones In**

ヘッドホンを挿入しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

- オート
- バーチャル SB
- バスモード
- テストトーン
- マナー/ミッドナイト（DVD オーディオまたは SACD 再生時）
- CH レベル

ディスプレイユニット部 **96k Stereo**

88.2/96kHz リニア PCM 信号を入力しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

- オート
- サラウンド
- アドバンスド
- ダイアログ
- バーチャル SB

ディスプレイユニット部 **MPEG-2 AAC**

MPEG-2 AAC 信号を入力しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

- ダイアログ
- バーチャル SB

ディスプレイユニット部 **No Surr. SP**

サラウンドチャンネルが記録されていないステレオソースをオートモードで再生中に、バーチャルSBボタンを押すと表示されます。また、ステレオモードやバーチャルサラウンドモードを選択しているときにバーチャルSBボタンを押すと表示されます。

ディスプレイユニット部 **Muting**

ミューティング中にテストトーンボタンを押すと点滅表示します。

ディスプレイユニット部 **Exit**

各種メニューを表示中に、そのメニューを表示することが禁止されている信号が入力されたときに表示され、通常表示に戻ります。

ディスプレイユニット部 **Tray Lock**

● **OPEN/CLOSE▲ ボタン**を 8 秒以上押して「Lock Off」を表示させると、ディスクテーブルを開閉することができます。

ディスプレイユニット部 **DVD-AUDIO**

● DVD-Audio を再生しているときに以下のボタン操作を行うと表示が点滅します。

- オート
- サラウンド
- ダイアログ
- バスモード
- アドバンスド
- バーチャル SB

ディスプレイユニット部 **SACD**

● SACD を再生しているときに以下のボタン操作を行うと表示が点滅します。

- オート
- サラウンド
- ダイアログ
- バスモード
- アドバンスド
- バーチャル SB

マルチチャンネル再生にならないときは

マルチチャンネル（5.1ch）再生にならないときは、以下を確認してみてください。案外簡単なミスや勘違いをしていることもあります。

1. **オートボタンを押します**

再生している音声に応じたサウンドモードに自動で切り換わります。

2. **テストトーンを出力してみる（90ページ）**

すべてのスピーカーからテストトーン（ザーという音）が出力されていることを確認してください。テストトーンが出力されないスピーカーがあるときは、接続をもう一度確かめてから、もう一度テストトーンを出力してみてください。

3. **適切なサラウンドモードを選ぶ（58～61ページ）**

ステレオ再生になった場合

サラウンドボタンまたは**アドバンスドボタン**を押してモードを変更すると、ステレオ再生をマルチチャンネルにして再生します。

メ モ

▼ 複数の音声が収録されているDVDディスクの場合、再生している音声によって、ステレオ再生またはマルチチャンネル再生になります。（58～59ページ）ステレオモードまたはバーチャルモードを選択しているときはマルチチャンネル再生になりません。

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、「保証とアフターサービス」（128ページ）をお読みのうえ、修理をご依頼ください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
	すべてに共通	
音が出ない。	• すべてのコードが完全に接続されていません。接続のしかたを参照して、正しく接続してください。 • スピーカーコードがショート（接触）しています。スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 • ミューティング状態になっています。リモコンの消音ボタンを押してください。 • 音量がゼロになっています。音量を調整してください。 • ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • ヘッドホンが挿入されていませんか?ヘッドホンを抜いてください。	セットアップガイド セットアップガイド 17 ページ 10 ページ 109 ページ 32-33 ページ 15 ページ
サラウンド（センター）スピーカーから音が出ない。	• スピーカーが正しく接続されていません。もう一度接続を確認してください。 • ステレオ再生になっています。サラウンドボタンを押して適切なサラウンドモードにしてください。	セットアップガイド 59 ページ
テストトーンが出てこないスピーカーがある。	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。 • ディスプレイユニットを確認してください。 のように点灯しているときはフロントL/Rとサブウーファーからのみテストトーンが出力されます。すべてのスピーカーからテストトーンを出したいときは、オートボタンを押してからもう一度やり直してください。	セットアップガイド 58 ページ
テストトーンがまったく出ない。	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。	セットアップガイド
音声／ライン1出力が途切れる。	• リモコンの操作をすると音声が途切れることがあります。録音モードをオンに設定してください。	102 ページ
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの⏻電源ボタンを押して、表示窓の[Good Bye]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットから電源コードを接続しているときはご注意ください。また、2～3日、電源コードを抜いたままにしておくと設定した内容はクリアされてしまいます。再設定してください。	

応用編

その他

症状	原因 / 対策	参照ページ
本体の操作ボタンを押しても動作しない。	• チャイルドロック機能が、オンに設定されています。チャイルドロック機能をオフに設定してください。	**98 ページ**
DVD/CD 関係		
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	• 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください。 • PAL方式やSECAM方式のディスクでは再生できません。NTSC 方式のディスクを使用してください。 • 一度、■ボタンを押してから、もう一度再生してください。	**126 ページ** **106 ページ**
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない。	• ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクがディスクトレイに正しくセットされていません。ディスクを正しくセットしてください。 • リージョンNO.が一致していません。リージョン「2」か「ALL」のディスクを使用してください。 • ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	**109 ページ** **8 ページ** **110, 114 ページ** **8 ページ**
映像が映らない。	• 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続(100ページ)しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？ 76ページをご覧になり、映像出力方式を**[プログレッシブ]**から**[インターレース]**に変更してください。 • ビデオコードは十分に差し込まれていますか？しっかりと差し込んでください。 • 接続しているビデオコードが断線していませんか？ビデオコードを変えて接続してみてください。	**76 ページ**
DVD の音声や字幕が切り換わらない。	• ディスクに複数の字幕や音声が記録されていない。DVD ディスクのジャケットを確認してください。 • リモコンの音声ボタンや字幕ボタンで切り換わらないDVDディスクがあります。そのときは、DVDのメニュー画面にて切り換えてください。	**110 ページ** **9 ページ**
画面が縦または横に伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	• テレビ画面とのマルチアスペクトの設定が合っていません。テレビ画面のマルチアスペクトの設定をしてください。 • S1 とS2 の設定が、ご使用のテレビのS端子と合っていません。S出力をS1 に設定してください。	**7, 75 ページ** **76 ページ**
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
音が出ない、音が歪む。	• ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。MP3 のディスクの場合は、とくに汚れに注意してください。 • 音量を上げ過ぎています。音量を下げてください。	**109 ページ** **10 ページ**
JPEGファイルが再生できない。	• **[フォトビューワー]**の設定をオンにしてお試しください。	**89 ページ**
CD/MP3 が再生できない。	• **[フォトビューワー]**の設定をオフにしてお試しください。	**89 ページ**
MP3 ファイルを記録したディスクを再生することができない。	• 記録したディスクがISO9960フォーマットに準拠していないと再生できません。画面に**「このフォーマットは再生できません」**と表示されます。 • MPEG1 オーディオレイヤー３のサンプリング周波数32kHz/44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されていないと再生できません。画面に**「このフォーマットは再生できません」**と表示されます。	**107 ページ** **107 ページ**
DVD と CD で音量差を感じる。	• これはディスクの記録方式の違いによるものです。故障ではありません。	
ディスクに記録されているトラック(ＭＰ３ファイル)を選択することができない。	• 本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識することはできません。拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 • 本機では500以上のフォルダー、または1000以上のトラックを認識することはできません。 • 本機はマルチセッションに対応していません。再生するディスクがマルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。	**107 ページ** **107 ページ** **113 ページ**
９６kHz のデジタルオーディオが出力されない。	• コピー保護など、いくつかの DVD では 96kHz オーディオは出力しません。この場合 96kHz が選択されていても出力は自動的に 48kHz になります。これは故障ではありません。 • [リニアPCM出力]の設定で[ダウンサンプルオン]が選択されていないか確認してください。	
デジタル音声が出力できない。	• DVD-AudioまたはSACDはデジタル音声を出力できません。音声／ライン１出力端子と接続してください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	セットアップガイド セットアップガイド
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部のモノインジケーターが点灯していませんか？"FM Mode" の設定を Auto にしてください。	**29 ページ**
外部機器関係		
BS デジタルチューナーからの音が、マルチチャンネル再生にならない。	• ディスプレイユニットのAACインジケーターが点灯していますか？BSデジタルチューナー（またはBSデジタルチューナー内蔵テレビ）の音声出力設定で、MPEG-2 AAC 信号を出力するように設定してください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）ですか？ステレオ放送やモノラル放送のときは、サラウンドボタンを押して、マルチチャンネル再生にしてください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）のときは、オートボタンを押して、AUTO にしてください。	**19 ページ** **59 ページ** **58 ページ**
デュアルモノの設定をしても BS デジタル放送の二カ国後音声が切りかわらない。	• 入力信号がデュアルモノフォーマットのときのみデュアルモノ設定は有効です。それ以外のときは、BS チューナー側（テレビ側）で操作を行ってください。	
LINE1 ANA、LINE2 または、テレビに接続した機器からの音がひずむ。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを “ATT 6dB” または “ATT 10dB” にしてください。	**102 ページ**
音声 / ライン 1 入力端子に接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • LINE ボタンを押して、LINE1 ANA にしてください。	**101 ページ** **101 ページ**
テレビに接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • TV ボタンを押してください。	**101 ページ** **101 ページ**
その他		
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	**21 ページ**

症状	原因 / 対策	参照ページ
リモコンがきかない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。 • 7m以内、左右30度以内で、リモコンを本機に向けて操作してください。 • 本機とリモコンとの間に、信号を遮る障害物がありませんか?障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。 • 操作したいテレビのリモコンコードが設定されていないと、本機のリモコンでテレビを操作することはできません。	セットアップガイド 15 ページ 15 ページ 22 ページ
タイマーインジケーターが緑色に点滅して、電源が入らず何の操作もできない。	• 電源コードを抜いてからスピーカーコードがスピーカー端子からはみ出してリアパネルとショートしていないか、サブウーファーのリアにあるファンに異物がはさまっていないか確認してみてください。再び電源コードを差し込んでから1分後に⏻ 電源ボタンを押して電源を入れてみてください。それでも、本機の電源が入らず何の動作もしないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	
設定した内容が、全てクリアーされている。	• 数日、電源コードを抜いたままにしておくと、設定した内容はクリアーされてしまうことがあります。再設定してください。	
動作しない	• 電源コードがはずれていませんか？電源コードを正しく接続してください。	セットアップガイド

・静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（128ページ）をお読みのうえ、販売店に点検（有料）をご依頼ください。

メーカーコード表

メーカー	コード
ACURA	644
ADMIRAL	631
AIWA	660
AKAI	632, 635, 642
AKURA	641
ALBA	607, 639, 641, 644
AMSTRAD	642, 644, 647
ANITECH	644
ASA	645
ASUKA	641
AUDIOGONIC	607, 636
BASIC LINE	641, 644
BAUR	631, 607, 642
BEKO	638
BEON	607
BLAUPUNKT	631
BLUE SKY	641
BLUE STAR	618
BPL	618
BRANDT	636
BTC	641
BUSH	607, 641, 642, 644, 647, 656
CASCADE	644
CATHAY	607
CENTURION	607
CGB	642
CIMLINE	644
CLARIVOX	607
CLATRONIC	638
CONDOR	638
CONTEC	644
CROSLEY	632
CROWN	638, 644
CRYSTAL	642
CYBERTRON	641
DAEWOO	607, 644, 656
DAINICHI	641
DANSAI	607
DAYTON	644
DECCA	607, 648
DIXI	607, 644
DUMONT	653
ELIN	607
ELITE	641
ELTA	644
EMERSON	642
ERRES	607
FERGUSON	607, 636, 651
FINLANDIA	635, 643, 655
FINLUX	632, 607, 645, 648, 653, 654, 655
FIRSTLINE	640, 644

メーカー	コード
FISHER	632, 635, 638, 645
FORMENTI	632, 607, 642
FRONTECH	631, 642, 646
FRONTECH /PROTECH	632
FUJITSU	648, 629
FUNAI	640, 646, 658
GBC	632, 642
GE	601, 608, 607, 610, 617, 602, 628, 618
GEC	607, 634, 648
GELOSO	632, 644
GENEXXA	631, 641
GOLDSTAR	610, 623, 621, 602, 607, 650
GOODMANS	607, 639, 647, 648, 656
GORENJE	638
GPM	641
GRAETZ	631, 642
GRANADA	607, 635, 642, 643, 648
GRADIENTE	630, 657
GRANDIN	618
GRUNDIG	631, 653
HANSEATIC	607, 642
HCM	618, 644
HINARI	607, 641, 644
HISAWA	618
HITACHI	631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618
HUANYU	656
HYPSON	607, 618, 646
ICE	646, 647
IMPERIAL	638, 642
INDIANA	607
INGELEN	631
INTERFUNK	631, 632, 607, 642
INTERVISION	646, 649
ISUKAI	641
ITC	642
ITT	631, 632, 642
JEC	605
JVC	613, 623
KAISUI	618, 641, 644
KAPSCH	631
KENDO	642
KENNEDY	632, 642
KORPEL	607
KOYODA	644
LEYCO	607, 640, 646, 648
LIESENK&TTER	607
LOEWE	607
LUXOR	632, 642, 643

メーカーコード表

メーカー	コード
M-ELECTRONIC	631, 644, 645, 654, 655, 656, 607, 636, 651
MAGNADYNE	632, 649
MAGNAFON	649
MAGNAVOX	607, 610, 603, 612, 629
MANESTH	639, 646
MARANTZ	607
MARK	607
MATSUI	607, 639, 640, 642, 644, 647, 648
MCMICHAEL	634
MEDIATOR	607
MEMOREX	644
METZ	631
MINERVA	631, 653
MITSUBISHI	609, 610, 602, 621, 631
MULTITECH	644, 649
NEC	659
NECKERMANN	631, 607
NEI	607, 642
NIKKAI	605, 607, 641, 646, 648
NOBLIKO	649
NOKIA	632, 642, 652
NORDMENDE	632, 636, 651, 652
OCEANIC	631, 632, 642
ORION	632, 607, 639, 640
OSAKI	641, 646, 648
OSO	641
OSUME	648
OTTO VERSAND	631, 632, 607, 642
PALLADIUM	638
PANAMA	646
PANASONIC	631, 607, 608,642, 622
PATHO CINEMA	642
PAUSA	644
PHILCO	632, 642
PHILIPS	631, 607, 634, 656
PHOENIX	632
PHONOLA	607
PROFEX	642, 644
PROTECH	607, 642, 644, 646, 649
QUELLE	631, 632, 607, 642, 645, 653
R-LINE	607
RADIOLA	607
RADIOSHACK	610, 623, 621, 602
RBM	653
RCA	601, 610, 615, 616, 617, 618, 661, 662, 609
REDIFFUSION	632, 642
REX	631, 646
ROADSTAR	641, 644, 646
SABA	631, 636, 642, 651
SAISHO	639, 644, 646

メーカー	コード
SALORA	631, 632, 642, 643
SAMBERS	649
SAMSUNG	607, 638, 644, 646
SANYO	635, 645, 648, 621, 614
SBR	607, 634
SCHAUB LORENZ	642
SCHNEIDER	607, 641, 647
SEG	642, 646
SEI	632, 640, 649
SELECO	631, 642
SHARP	602, 619, 627
SIAREM	632, 649
SIEMENS	631
SINUDYNE	632, 639, 640, 649
SKANTIC	643
SOLAVOX	631
SONOKO	607, 644
SONOLOR	631, 635
SONTEC	607
SONY	604
SOUNDWAVE	607
STANDARD	641, 644
STERN	631
SUSUMU	641
SYSLINE	607
TANDY	631, 641, 648
TASHIKO	634
TATUNG	607, 648
TEC	642
TELEAVIA	636
TELEFUNKEN	636, 637, 652
TELETECH	644
TENSAI	640, 641
THOMSON	636, 651, 652, 663
THORN	631, 607, 642, 645, 648
TOMASHI	618
TOSHIBA	605, 602, 626, 621, 653
TOWADA	642
ULTRAVOX	632, 642, 649
UNIVERSUM	631, 607, 638, 642, 645, 646, 654, 655
VESTEL	607
VICTOR	613
VOXSON	631
WALTHAM	643
WATSON	607
WATT RADIO	632, 642, 649
WHITE WESTINGHOUSE	607
YOKO	607, 642, 646
ZENITH	603, 620
PIONEER	600, 631, 632, 607, 636, 642, 651

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

日ごろのお手入れと取り扱いの注意

使用上の注意

本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに⏻STANDBY/ON(またはリモコンの⏻電源ボタン)を押し、表示窓の[Good Bye]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」(128ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

設置上の注意

- 組み合わせて使用するテレビのそばの安定した場所を選んでください。また、次のような場所には設置しないでください。
- 湿気の多い所や風通しの悪い所･極端に暑い所や寒い所 ・振動のある所・ほこりの多い所・ 油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)
- 直射日光のあたる場所や､暖房器具の近くには設置しないでください｡キャビネットが変形したり､変色したりして故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください｡不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機は､テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります｡その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください｡テレビの自己消磁機能により､画面への影響が改善されます｡その後も色ムラが残るような場合には､スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

初期設定一覧

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font AvenueはNECの登録商標です。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. **電源ボタンを押して、電源をオフにします。**

電源が入っているときは、⏻電源ボタンを押します。

2. **本体の■ボタンを8秒間押します**

以下のように表示されます。

Mem. Clr?

3. **本体の►/❚❚ボタンを押します**

電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリー（ステーションメモリーを除く）が同時に消去されます。初期化する際は十分にご注意ください。

メ モ

▼ 初期化すると、6ページの画面が最初に表示されます。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、別添の修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

118～122ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD 5.1ch サラウンドシステム
- 型番：HTZ-700DV
  HTZ-900DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

DVD/CDチューナー部 (XV-DV700) (XV-DV900)

■ DVD部（音声）

周波数特性
　48 kHzサンプリング ...... 4 Hz ～ 22 kHz
　96 kHzサンプリング ...... 4 Hz ～ 44 kHz
　192 kHzサンプリング ... 4 Hz ～ 88 kHz
SN比 .... 106 dB
ダイナミックレンジ .... 95 dB
全高調波歪率 .... 0.004 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

■ DVD部（映像）

映像出力
出力レベル ... 1 Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 .... RCA端子

S2映像出力
映像Y出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
映像C出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S端子

D2映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
映像Y出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
映像CB/PB、CR/PR出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D端子

■ チューナ部

FMチューナ部
　受信周波数 .... 76.0 ～ 108.0 MHz
　アンテナ .... 75 Ω不平衡型
AMチューナ部
　受信周波数 .... 522 kHz ～ 1,629 kHz
（9 kHzステップ）
.... 530kHz ～ 1,700kHz
（10 kHzステップ）
　アンテナ .... ループアンテナ（付属）

■ その他

外形寸法 .... 360 X 74 X 270 mm
（幅）X（高さ） X（奥行）
質量 .... 3.2 kg
許容動作温度 .... ＋5 ℃～＋35 ℃
許容動作湿度 .. 5 %～ 85 %(結露のないこと)

スピーカーシステム部 (S-DV700ST) (S-DV900ST)

■ フロント / サラウンドスピーカー

型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
　ミッドレンジ .... 8.7 cm（コーン型）
　ツイータ .... 5.2 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 ....80 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 75 W（JEITA）
外形寸法 .... 110 X 284 X 59 mm
（幅）X（高さ） X（奥行）
質量 .... 0.7 kg

■ センタースピーカー

型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
　ミッドレンジ ....8.7 cm（コーン型）
　ツイータ ....5.2 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 ....80 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 75 W（JEITA）
外形寸法 .... 284 X 110 X 58 mm
（幅）X（高さ） X（奥行）
質量 .... 0.7 kg

アンプ内蔵サブウーファー部 (S-DV700SW) (S-DV900SW)

■ サブウーファー

型式 .... バスレフ式フロア型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
ウーファー .... 18 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 28 ～ 250 Hz
最大入力 .... 75 W（JEITA）
外形寸法 .... 192 X 395 X 436 mm
（幅）X（高さ） X（奥行）
質量 .... 12.5 kg

■ 電源部

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 189W
スタンバイ消費電力 0.45W

■ アンプ部

実用最大出力（JEITA）
フロント（1 kHz、10 %、6 Ω）
.... 75W x 2
リア（1 kHz、10 %、6 Ω）.... 75W x 2
センター（1 kHz、10 %、6 Ω）.... 75W
サブウーファー（100 Hz、10 %、6 Ω）
.... 75W

ディスプレイユニット部

外形寸法 .... 274 X 44 X 35 mm
（幅）X（高さ） X（奥行）
質量 .... 200 g

付属品

リモコン 1
ディスプレイユニット 1
AM ループアンテナ 1
FM アンテナ 1
ビデオコード （1.5 m）................................. 1
単 3 形乾電池（AA/R6P）............................. 2
電源コード 1
システムケーブル A 1
システムケーブル B 1
ディスプレイケーブル 1
スピーカーコード
（5 m / フロントスピーカー用）................ 2
（5 m / センタースピーカー用）................ 1
（10 m / サラウンドスピーカー用）......... 2
滑り止めパッド（大）（サブウーファー用）... 4
滑り止めパッド（小）
（センタースピーカー用）................................ 4
スピーカースタンド 4
取扱説明書
本編（本書）.. 1
システムセットアップガイド 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
保証書 1

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外(例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用)で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜〜金曜　9：30〜17：00、　土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：フリーフォン **0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口　：フリーフォン **0070-800-8181-33**
ファックス　：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00、　土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）　：フリーダイアル **0120-5-81095**
一般電話　：**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）：フリーダイアル **0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00、　土曜　9：30〜12：00、13：00〜17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）　：フリーダイアル **0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　：**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）：フリーダイアル **0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜〜金曜　9：30〜18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：**098-879-1910**
ファックス　：**098-879-1352**

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TNGFF/03C00000>
<ARA7183-A>